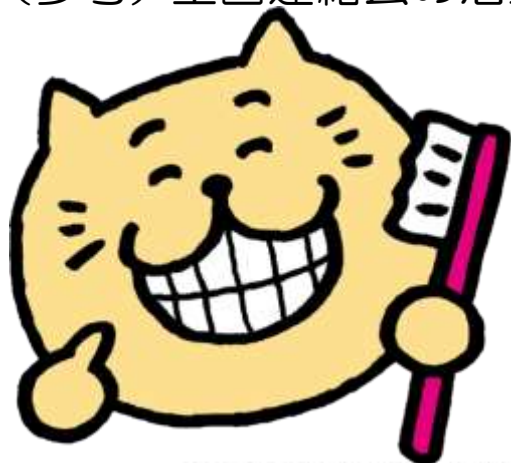


保険で良い歯科医療を!

6.5 歯科署名提出集会

- ・ 集会のプログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1
- ・ 集会に寄せられた国会議員メッセージ・・・・・・・・p2
- ・ 白岩さんの発言資料
 - ・ 歯科技工問題に係る MBSNEWS の記事・・・・・・・・p6
- ・ 各団体の署名などの取り組み資料
 - ・ 「保険で良い歯科医療を」連絡会ニュース・・・・・・・・p13
 - ・ 全日本民医連ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・p17
 - ・ 医療福祉生協連ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・p31
 - ・ 保団連関連ニュースなど・・・・・・・・・・・・・・・・p32
- ・ 署名用紙、リーフなど・・・・・・・・・・・・・・・・p61
- (参考) 全国連絡会の活動紹介・・・・・・・・・・・・p65



主催：「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

集会のプログラム

日 時 2025 年 6 月 5 日 (木) 12 : 00 ~ 13 : 00
場 所 参議院議員会館・B104 会議室、WEB 会議
主 催 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

12 : 00 開会あいさつ (雨松 真希人^{あままつ まきと}さん 連絡会会長)

補足発言 (宇佐美 宏^{うさみ ひろし}さん 連絡会副会長)

12 : 10 各地・各分野からの発言

○ 寺崎 由郎^{てらさき よしお}さん

患者さんからの声

○ 森田 晃市^{もりた こういち}さん

つるが生協在宅総合センター和・所長

○ 白岩 一心^{しらいわ かずむね}さん

兵庫県保険医協会副理事長

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会世話人

※随時、ご出席の国会議員あいさつ、(適宜、署名提出)

※時間があれば、フロアからご発言

12 : 55 閉会あいさつ (岩下 明夫^{いわした はるお}さん 連絡会副会長)

「保険でより良い歯科署名 6.5 提出集会」へのメッセージ一覧

(2025 年 6 月 4 日 11 時 30 分現在)

◆西川 将人 衆議院議員（立民・比例北海道）

歯科医療は、「口腔の健康」を超えて、全身の健康維持や生活の質向上に不可欠な社会基盤であり、命を守り、健康寿命を支える国家的インフラのはずですが、現行制度において、患者の窓口負担の重さ、保険適用範囲の拡大、そして診療報酬や財政支援の不十分さといった課題が、必要な医療へのアクセスを阻み、国民の健康格差を拡大させています。

この署名活動は、「患者負担の軽減」「保険制度の適切な拡充」「歯科医療への公的財源の充実」を国に求めるものです。

特定の業界の声にとどまらず、すべての人々の健康と尊厳を守るための、社会全体への切実な呼びかけ、誰もが安心して歯科医療を受けられる持続可能な体制を求め、この趣旨に心から賛同し、実現に向け全力で取り組みます。

◆阿部 知子 衆議院議員（立民・神奈川 12 区）

ウクライナでもガザでも無差別攻撃によって多くの非戦闘員が犠牲になっています。そんな中、メディカルエバキュエーション（医療避難）でかろうじて生命をつないだ患者さんの多くが歯科の疾患をかかえて治療に苦慮しておられます。歯は生命をつなぐ大切なもの、どんな国にあっても皆さんのご活躍に期待しています。

◆杉村 慎治 衆議院議員（立民・埼玉 9 区）

本日の「保険で良い歯科医療を求める集会」のご盛会、誠におめでとうございます。

国民の身体の健康水準の維持・向上には、口腔の健康水準を維持・改善することが必要不可欠であるとの認識が高まる中、口腔の健康維持に広く保険が適用されなければ、国民の身体の健康を保つことは難しいことは明らかです。

本日の集会のご盛会を通じ、歯科医療への保険適用拡大への国民の統一的思想の形成につながるよう、心から祈念申し上げます。

◆岡田 華子 衆議院議員（立民・青森 3 区）

本日の集会が実り多きものとなりますようご祈念申し上げます。

◆神谷 裕 衆議院議員（立民・北海道 10 区）

口腔の健康と、全身の健康の関係性に国民の関心が年々高まっています。にもかかわらず歯科技工士不足が深刻化し、歯科医療をめぐる現状は厳しさを増しており、課題が山積しています。

このような状況を打破すべく、貴連絡会が「お金の心配をせず、保険で良い歯科治療」を受けられるよう、署名や国会議員への要請等に地道に取り組んでこられたことに、心から敬意を表します。

私も皆様の思いを一步でも前に進められるよう引き続き努力してまいります。

貴連絡会の益々のご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、メッセージとさせていただきます。

◆**青山 大人 衆議院議員（立民・茨城6区）**

健康は歯の健康から始まると言っても過言ではなく、国民の健康に日々多大なる貢献をされている、歯科医師、歯科技工士、歯科医療従事者の皆様には深く感謝申し上げます。歯科医療を取り巻く課題を改善し、皆様と共に尽力してまいります。

◆**高松 智之 衆議院議員（立民・東京28区）**

歯科医療を全面的に応援していきます。

◆**馬淵 澄夫 衆議院議員（立民・奈良1区）**

日頃のご尽力に敬意を表します。

残念ながら署名提出集会に参加することができません。請願の紹介議員はぜひお受けしたいと存じます。国会事務所まで署名をお届けいただければ幸甚です。

◆**谷田川 元 衆議院議員（立民・比例南関東）**

「保険で良い歯科医療を」目的として、奮闘されている皆様に深甚なる敬意を表します。

歯科医療の保険適用拡大や患者窓口負担割合の軽減に向けて、ともに頑張りましょう。

◆**橋本 幹彦 衆議院議員（国民・埼玉13区）**

皆さまのご尽力に心より敬意を表します。口内衛生は全身の健康と密接に関わっており、誰もが安心して歯科治療を受けられる環境の整備は喫緊の課題です。歯科技工士の人材確保や保険の拡大に向け、皆様に連携して取り組んで参ります。

◆**西岡 秀子 衆議院議員（国民・長崎1区）**

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会・「保険で良い歯科署名提出集会」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より、歯科の保健・医療制度全般の改善のためご尽力頂いております事に感謝を申し上げます。

依然として、燃料油、エネルギー価格・原材料価格をはじめとあらゆる物価が高騰しており、国民生活、地域経済に深刻な影響を与え続けております。

貴連絡会の皆様におかれましても、歯科用貴金属、歯科材料、光熱水費の高騰等が経営に深刻な影響を及ぼしている事を認識致しております。また、近年、歯科技工士不足も深刻な状況です。

物価高勝対策の強化はじめ諸課題解決に向け引き続き取り組んで参ります。

これからも、皆様のご指導を賜わりながら、乳幼児から高齢者までの歯科の保健・医療制度全般の改善の為に全力で働いて参ります。

本集会が実り多きものとなりますよう祈念申し上げますと共に「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の益々のご発展とご参加皆様のご活躍ご健勝をお祈り申し上げます。

◆やはた 愛 衆議院議員（れいわ・比例近畿）

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の皆様が、歯科医療従事者や患者の皆さまのために、日々ご尽力されていることに深く敬意を表します。

れいわ新選組は、国費を投じて医療と社会保障を充実させること、医療従事者の皆さまの処遇を大幅に改善することなどを基本政策に掲げています。

私、やはた愛も、厚生労働委員として、誰ひとり取り残さない社会を目指し、医療現場の負担軽減や処遇改善を訴えてまいりました。今後も、国による積極財政で予算拡大、保険制度の改善・医療従事者の処遇改善などを引き続き訴えてまいります！

最後に、ご臨席の皆様方の更なるご活躍並びに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、私からの激励と連帯のメッセージとさせていただきます。

◆佐原 若子 衆議院議員（れいわ・比例東北）

歯科医療の現場で働く皆様の環境、条件、待遇の改善、そして患者様の健康のために、日々ご活動いただいている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

多くの署名に反映された声...”歯科医療における窓口負担の軽減、保険適用の拡大、予算の拡大”を国会へ届けて参ります。全ての方々の良い歯実現のために私も力を尽くしてまいります。

◆堀川 あきこ 衆議院議員（共産・比例近畿）

歯科医療制度の改善、歯科医療従事者の処遇改善をめざし奮闘されている皆さまに心から敬意と感謝を申し上げます。

先日、歯科医療に携わる皆さまと懇談させていただく中で、口の中を見るとその人の生活や困窮がよくわかるというお話を伺いました。経済的理由や労働環境によって、早期受診が困難になり、口腔崩壊とも言える状況に陥っているという切実な実態でした。

口腔環境の悪化が全身の健康にも影響を及ぼします。

歯科医療の充実を図り、国民の健康を守るため力を尽くしていく決意です。

◆塩村 あやか 参議院議員（立民・東京）

国民の健やかな生活を守ることは、政治の大切な役割のひとつです。口腔の健康は全身の健康にも深くかかわっていると伺っており、私も日に3回歯を磨くように心がけております。

より良い歯科医療の実現に向けて活動されている皆さまに深く敬意を表しますとともに、皆さまの不安や懸念が解消され、国民の健康増進に資する保険・医療体制が

実現されるように、私も全力を尽くしてまいります。

皆さまのさらなるご発展とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

◆山添 拓 参議院議員（共産・東京）

私自身も歯科に大変お世話になっています。集会ご参加のみなさんに敬意を表します。歯科技工士の不足は歯科医療そのものを揺るがす事態となりかねず、就業環境の改善が急務です。患者負担を増やさずに保険適用を拡大し、「保険で良い歯科医療を」提供できるよう、ともに声を上げます。

◆山下 芳生 参議院議員（共産・比例）

皆さんの長年にわたる「歯科医療従事者の技術と労働の適正な評価、経営と生活の確保」や「保険で良い歯科医療」の提供のための奮闘に心からの感謝と敬意を表します。

物価高の中、国民の歯科医療の受診抑制が広がっています。歯科材料・光熱費等の物価高騰に対応可能な歯科医療機関への十分な財政支援、歯科医療従事者、特に歯科技工士の処遇改善、患者・利用者の負担減を実現し、「いつでも、どこでも、だれでも」安心して歯科医療が受けられる社会をともに実現しましょう。

みなさんの運動と組織がますます発展することを願ってメッセージとします。

◆伊藤 岳 参議院議員（共産・埼玉）

患者さんのより良い受診環境をつくるためにご奮闘されているみなさんに心から敬意を表します。

あらゆるものの物価が高騰するもと、節約に節約を重ねる日々です。経済的理由などによる未受診が広がり、治療の中断は深刻さを増しています。患者窓口負担の引下げは急務です。

歯科の公的医療費抑制で保険の範囲は広がらず、歯科診療報酬は低く抑えられたままです。これでは歯医者さんも安心して質の高い技術を提供することができません。保険適用の拡大と歯科医療への予算を拡大し、ケア労働に携わるみなさんの労働条件を改善していくべきです。

「いつでも、どこでも、誰でも、お金の心配をしないで受診できるようにしてほしい」という切実な願いを受け止め、一緒に頑張る決意です。

「時給600円」「異常な低賃金」...入れ歯作る歯科技工士がなり手不足のピンチ 過酷な勤務実態

社会

25/06/01 17:00

編集部セレクト



2025年05月07日(水)放送

多くの人が受けたことがある歯科治療。今、その治療がピンチに陥っています。歯科医師の指示で歯の詰め物・入れ歯などを作る「歯科技工士」のなり手が、20年で4000人以上と大幅に減っているのです。40年以上経験を持つ技工士への取材を通じて見えてきたのは、土日問わず朝までの長時間労働、そして低収入といった過酷な勤務実態でした。若手の技工士は「時給600～700円で他の仕事の方がマシ」など待遇や長時間労働への不満を訴えています。

経験47年のベテラン歯科技工士「朝まで働くことが日常茶飯事」



兵庫県尼崎市で歯科技工士として働く泉敏治さん(67)は、この道47年の大ベテランです。個人の技工所でさまざまな機械を使い分け、義歯や歯のかぶせ物を手作りしています。

技工物を作るには、細かい作業や修正も含めると40～50の工程があり、それをほぼ全て手作業でしないといけないといえます。これは、歯の形などが人によりバラバラで、オーダーメードで製作するためです。

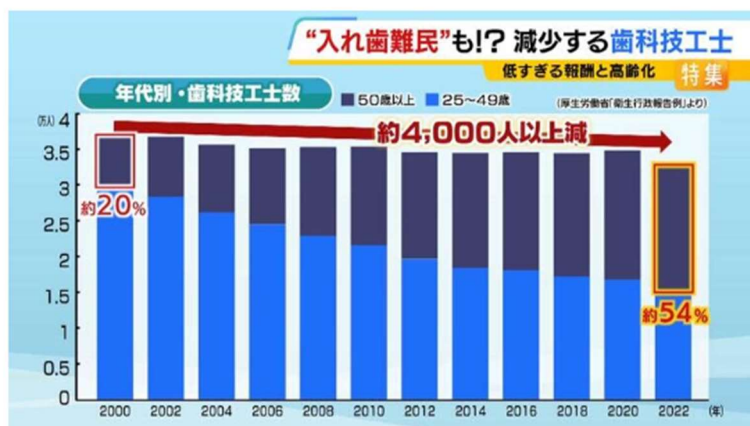
これだけ手間のかかる作業でありながら、泉さんは高くない報酬で長時間労働を余儀なくされてきたと訴えます。

約30年前のバブル時代には労働時間が1日約20時間に及び、土日も休むことなく朝までほぼ丸1日働くことが日常茶飯事でしたが、今もその状況があまり変わっていないといえます。

(泉敏治さん)「最近1日16時間働いて、年300万円の収入。1日8時間労働なら150万円の収入です。部分入れ歯を作るのに、保険点数が変わってないからずっと(1個あたり)1万2000円くらい。作るのにやっぱり1日に16時間労働をしないとできない。それにする対価ではない、今の保険点数は」

技工物の単価が安いことから、多くの歯科医院からの発注を受け、迫った納期の中で作業せねばならず、長時間労働になりやすいとも指摘します。

20年で4000人以上減少



歯科医療の一端を担う歯科技工士が近年、減少と高齢化のピンチに直面しています。

厚生労働省によりますと、歯科技工士として働く人の数は、2000年の3万7000人あまりから4000人以上減少。さらに50歳以上の割合が、2000年度には約20%だったのに対し、2022年度には54%以上にまで増加しています。

約40年前に技工所を開業した泉さんは、多い時には4人の若手の技工士を雇っていました。しかし、その多くは過酷な労働環境を理由に辞めてしまい、泉さんは今一人で働いています。

(泉敏治さん)「親御さんが怒鳴り込んできて『なんちゅう仕事や』と怒られたり、『辞めさせる』言うて。過酷だからです。私が働いてるのに先に帰したりしたけど、それでも長時間ですからね。(Qどんな思いで仕事に取り組んでいる?) 日々こなすだけです、以外に何もありません。するだけで精いっぱいです」

歯科医 技工士のなり手不足で「今後の歯科診療がどうなるかすごく不安」



それでは銀歯などの技工物を使う歯科医師は技工士が減少している現状をどのように思っているのでしょうか。兵庫県伊丹市で歯科医院を開いている川村雅之さんの医院でもこれまで依頼していた技工士が去年末に廃業し、替わりの技工士は未だに見つかっていません。また、周辺の病院でも納期に時間がかかるなどの影響が出始めているといいます。

「『保険（診療）の技工物やったら1週間ではできないようになってきたよ』っていうふうな話は聞きますね。うちでもものによっては1週間ではちょっと厳しいというふうな状況にはなっています」

また、技工士が減少したことで、保険診療での技工物をやらないという技工士も出てくる恐れがあり、患者にも影響が出るのではないかと指摘します。

「一番しわ寄せを受けるのは患者さんで、保険で技工物を作ってくれる所がないから全部保険外ですよとなったらやってられないよとなります。保険で技工物を作れることも国がちゃんと保障しないと、患者さんがちゃんと噛めない状態になります」

川村さんは、改めて技工士の減少、高齢化が進むことで歯科医療の将来への不安を抱くとともに、技工士の存在の重要性を改めて認識するべきだと話します。

「技工士が絶滅危惧になっていくのはすごく不安を感じます。技工士さんは歯科医にとってのパートナーです。患者さんや技工士さんに教えてもらい、いい医療が提供できるようになる。ですから技工士さんがいなくなったら僕は困るんです」

技工物の報酬はどう決まるのか？

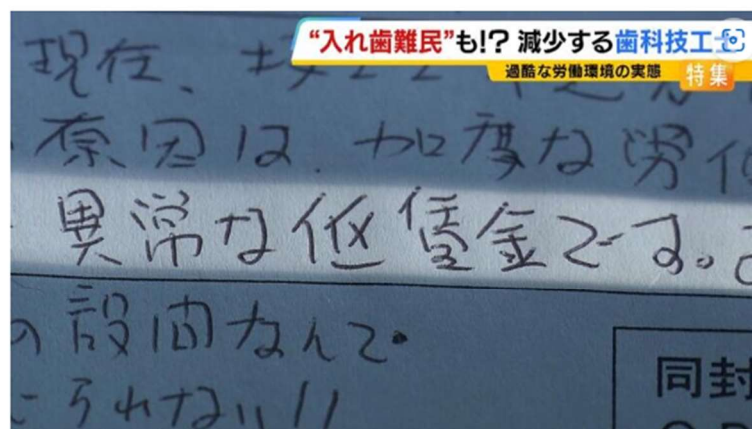


入れ歯など歯科技工の値段は、使う材料や製作方法、保険診療か自由診療かなど治療によっても大きく異なります。患者の負担が少ない保険診療については、国が価格を決め、技工物代など治療にかかわる診療報酬は、国と患者から歯科医院に支払われ、その一部が歯科技工士に渡されています。

専門家などによりますと、この支払い比率は基準が示されているだけで、法的な拘束力はありません。技工士の間では「値下げをして、安くたくさん作る」と営業を行う技工士も出てきたことから、発注側の歯科医院では少しでもコストを抑えるため、技工物の価格がどんどん下がり、価格競争が生じている現状があります。

こうして、下がった技工物の価格をベースに国が診療報酬を決めることから、物価や材料費の高騰にもかかわらず技工物の価格（診療報酬）は30年あまり（去年まで）ほぼ横ばい状態となっています。

“異常な低賃金”現場の声から見える過酷実態



去年9月、兵庫県保険医協会が歯科技工士を対象に実施したアンケートには、1日の労働時間が12時間以上だと答えた人が4割を超え、6割以上の人が所得が年収400万円未満だと回答しました。

【アンケートの回答より】

「過度な労働時間と理不尽な就業内容。特に異常な低賃金」

「収入の割に働く時間が長いのがつらい」

「時給600～700円で材料・光熱費・ガソリン代を引けばもっと低くなる。違う仕事の方がましだと思っています」

「患者さんや歯科医師のことを考えながら40年以上仕事に従事したが、報われることはなかった」



歯科技工士であり、歯科医療従事者の労働環境の改善などを訴える団体「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の雨松真希人会長は、若者の歯科技工士離れについて「報酬の低さ」を指摘します。

「入れ歯やかぶせ物とかそういう物の値段ですよね。この値段があまりにも安い。安いことによって長時間働かないと売上げが上がらない」

雨松会長は歯科技工士の間では少しでも仕事を得るためにと値引き競争が激しく、物価や材料費の高騰にもかかわらず技工物の価格は30年あまり(去年まで)ほぼ横ばい状態となっていると指摘します。

「『よそよりもうちは10%安いですよ』という営業スタイルで取っていく技工所も。価格を抑えたい歯科医師と安くして発注をかき集めたい技工所が合わさる歯止めが利かなくなって、どんどん安くなっていった。3年～5年以内に(若手技工士の)7割近くが辞めると言われている」



政府は、歯科技工士の声を受け、去年6月、労働環境改善のためとしては30年ぶりに保険点数の引き上げを実施しました。

しかし、兵庫県保険医協会は、賃上げを実現したのは、歯科技工士の4割にとどまっているといいます。理由は発注する側の歯科医院も経営が苦しく、価格上昇分を技工士に支払っていないからだと訴えています。

(兵庫県保険医協会 西山裕康理事長)「(保険点数の)10%以上の大幅引き上げが必要なのではないかと思います。歯科技工士の待遇改善なしには十分な歯科医療は提供できない」

現在は負担軽減のため、スキャナーで読み取った患者データからかぶせ物などをデザインするなどデジタル技術の開発・導入が進められていますが、装置導入のためには1000万円以上かかると言われていて、2021年の調査では半分以上の技工所が所有していないことが明らかになっています。

厚生労働省は歯科技工士を取り巻く労働環境についてどう捉えているのでしょうか。担当者に聞いてみると…

(厚生労働省の担当者)「低賃金で長時間労働になっている技工士がいることについては把握している。現在の対応で十分だとは捉えておらず引き続き対策を検討している」

“人の笑顔を作れる”厳しい環境でも歯科技工士を目指す若者の姿



大阪大学歯学部付属の歯科技工士学校。歯科技工士が厳しい環境でありながらも日々実習や講義に熱心に取り組む学生たちの姿がありました。今年度、新たに18人の学生が入学したといいます。

(学生)「細かい作業が好きなので、それをいかせる仕事を探しているときに歯科技工士を見つけて。人の笑顔を見るのが好きなので笑顔を作ることができるんだと思って、歯科技工士を目指すようになりました」

(学生)「自分の手を使って小さいことをやるのが好き。歯科技工士自体も人口が少ないと聞いていたので、一緒に人助けもできたらいい感じだなと」

「入れ歯難民」ならぬためには「もっと目を向けてほしい」ベテラン歯科技工士訴え



ベテラン歯科技工士の泉さんは、長時間労働や低賃金などの問題改善のためには「仕事自体にもっと目を向けられるべきだ」と話します。

「みんな何か作っているぐらいにしか思われていない。歯のかみ合わせは健康のためにも大切だし、それを支える技工物を作ることができるのは歯科技工士しかいない。重要性を改めて知ってほしい」

高齢化で需要が高まる入れ歯などの歯科技工。必要な人材を絶やさないための対策が求められています。

取材を終えて



毎日放送 報道センター記者・神戸支局担当
木村 圭佑

2017年入社。
これまでに兵庫県政・事件や教育問題など
幅広く取材。
大阪府警担当などを経て、2024年から
現所属。

これまで何度も歯科治療を受けてきて、お世話になってきた歯科技工士。取材をする前、私はこれからも、当たり前
に虫歯の治療などを享受できると考えていました。

しかし取材を進めると、想像できないくらいの過酷な就労環境で人のために懸命に働く歯科技工士と、それによって
10年後には歯科技工士が不足し技工物が作られなくなるかもしれないという、厳しい現実が見えてきました。

価格競争、十分とは言えない診療報酬の改定、歯科医院とのいびつな関係など…この現実に関わる様々な要因が見え
てくる中、過酷な環境で47年間働いてきた泉さんが「ただやっていただけです」と、仕事について語ったとき、やりき
れない、寂しい思いに押しつぶされそうになりました。

今回の取材で特に私の心に残っているのは、歯科医師の川村さんが「歯科技工士さんはパートナーだ」と話していたこ
とです。

技工士に報酬を渡す側の立場であるものの、歯科医院の経営もある中で、仕事を「あげる」のではなく、「一緒に」仕事
をしていくという意識を持つべきと話しているのを聞いていると、心強く感じました。

また、技工士学校では、学生たちが「患者さんを笑顔にしたい」「お世話になった歯科医と働きたい」と目を輝かせなが
ら、実習に取り組んでいました。

歯科技工士、歯科医院、国、それぞれがこの問題に向き合い、我々が将来「入れ歯難民」にならないためにも、一刻も早
く改善されていくことを願います。





連絡会ニュース

第1号
(A4-1枚)

～署名推進編～

2024年12月4日・水

発行:「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

愛知連絡会 いい歯デー街頭宣伝を開催

保険医協会も参加する「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は、11月3日（日）に、名古屋栄の三越前で「いい歯デー街頭宣伝」を行った。

当日は、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、連絡会参加団体の構成員ら9人が参加し、「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名38筆を集約し、署名入りポケットティッシュ230個を配布した。

宣伝行動では、江原雅博連絡会会長をはじめ歯科医師3人が交代でマイクを握り、歯科医療が抱える現状を伝え、署名への協力を訴えた。

歯科医療機関をめぐる状況をみると、マイナ保険証などの医療DXが押し付けられる中、設備投資の負担に耐えられない医療機関が多数廃業。愛知県の歯科医療機関数は最も数が多かった2017年に比べて50件近く減っており、地域の身近な歯科医療機関を受診しづらくなっている現状がある。そして、日本の歯科医療費の総額は20年以上ほとんど変化がなく、物価高で生活が厳しい今こそ「保険でより良い歯科医療」を受けられるように、国は医療・歯科医療に必要な予算をきちんと確保するべきであり、ぜひ署名に協力してほしいと訴えた。

連絡会では、今後も健康講座などを通じて歯科医療の重要性を市民に届ける活動を継続していく。



◀宣伝物

▼三角ポップ



宣伝物の紹介

愛知協会では、署名用紙、リーフ、署名送付用封筒、三角ポップを一緒に詰め、一式セットにした宣伝物を配布しています。ポップは愛知協会で作成されたものです。

6月の国会提出に向けて、署名のご協力をよろしくお願いいたします。





連絡会ニュース

第2号
(A4-1 枚)

～運動紹介編～

2025 年 1 月 8 日・水

発行:「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

大分連絡会

「歯のなんでも電話無料相談」を開催

市民からの歯の悩み・相談に対応

大分県保険医協会は、昨年 10 月 6 日（日）に「保険でより良い歯科医療を」大分県連絡会との共催により「歯のなんでも電話無料相談」を開催した。

当日は会場の大分県保険医会館内会議室に電話機 2 台を設置し、午前 10 時から午後 4 時までの間、6 名の会員歯科医師が歯や口腔内に関する悩みや相談に対応した。

寄せられた相談内容と反応

今回の相談者数は 10 名、20 歳代から 70 歳代までの幅広い年齢層から歯にまつわる相談や悩みが寄せられた。

40 代の女性からは「複数の歯科医院にて歯のクリーニングを受けたが、歯科医院によってクリーニングの手法はそれぞれ異なる。1 番適切なクリーニングの方法はどういうものか教えてほしい」、50 代の女性からは「長期間にわたり補綴物等を使用しているが、金属アレルギーを発症する可能性はあるか」、同じく 50 代の女性から「19 歳の娘さんの歯ぎしりについて」、70 代の女性からは「上下総義歯を使用中であるが、顎の骨がどんどん痩せていくのではないかと心配」等、歯にまつわる市民からの切実な悩みに会員歯科医師が丁寧に対応し、相談者からは安心した様子うかがえた。



今年も、保険で良い歯科医療推進のために
一緒に活動していきましょう！





連絡会ニュース

第3号
(A4-1枚)

～街頭宣伝編～

2025年3月25日・火

発行:「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

保険でよい歯科署名 街頭宣伝スタート🌸

大阪連絡会は、署名活動推進のために3月より協会理事会前宣伝（第2土曜日・13時～なんば周辺）、お大師宣伝（毎月21日・午前中 四天王寺周辺）をスタートさせました。2つの宣伝で50筆を超える署名が集まり、多くの市民とも対話できました。

連絡会では4月・5月も宣伝を計画しています。



3月8日理事会前宣伝



ドクター6人が参加し 14筆が集まりました。



3月21日お大師宣伝



ドクター1人が参加し 41筆が集まりました。

大阪連絡会
では

署名集約数:約 5000 筆(協会:2518 筆、民医連 2500 筆) 3/24 現在

目標 3万筆達成に向けて頑張っています！



連絡会ニュース

第4号
(A4-1枚)

～活動紹介編～

2025年4月16日・水

発行:「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

2025年4月15日

(第三種郵便物認可)

全国保

主張

歯科医療の提供体制が危機的状況にある。厚労省の医療施設調

査(2025年1月末)に

よると、歯科診療所は6万6886施設で、前年同月比で889施設減少(個人立1246減少、法人立337増加)した。

歯冠修復、欠損補綴等を

製作する歯科技工士は、ピーク時は3千人強の国試合格者だったが、24年度は684人である。就業歯科技工士数はピーク時の3万6765人(02年)から約4千人減少し、その半数が55

連絡会結成を 呼び掛ける 記事を掲載

保団連の機関紙の全国保険医新聞(4/15号)で、「保険で良い歯科」の各県連絡会の結成を呼びかける記事を掲載しました。森元主税保団連副会長に執筆いただきました。ご覧ください。

各地で保険で良い歯科医療 連絡会の結成を

歳以上である。歯科医療費の3割が歯冠修復、欠損補綴関係であり、歯科医師と歯科技工士の連携で成り立つ共同作業である。歯科技工士不足の中、義歯製作は時間がかかる上に

的医療費削減を目標とする政府の思いつきである。命の危険に直結しない疾病として、歯科医療費は抑制され続けてきた。総医療費に占める割合は、かつては13%であったが、現在は

患者・国民は知らない。政治の場や、マスメディアの報道等でも、歯科医療問題は話題にならない。全国組織である保険医協会・保険医会が声を上げ、患者・国民を巻き込み、社会問題化し歯

不採算であるとの理由で、保険の義歯を受注しない歯科技工所がある。さらに技工士不足が進むと、義歯に限らずその他の保険の補綴物も不採算だと受注しなくなる予想される。公

7%である。「食べる」というQOL、健康寿命の延伸には歯科医療は欠かせない。このままでは、保険料を払っているのに保険の補綴物が提供されない時が来ることを、

科医療の充実を訴えていく以外にない。そのために、「保険でよい歯科医療を」の署名を集めている。6月の署名提出集会に向けて、まずは先生の一筆から始め、家族、従業

員にもすすめ、待合室に署名を置き、患者とともに歯科医療改善を訴えよう。この運動を担う「保険で良い歯科医療を」連絡会が11の地域で結成されている。保険で良い入れ歯は国民の権利「歯科医療従事者の技術と労働の適正な評価、経営と生活の確保」という問題の解決に向け、乳幼児から高齢者まで歯科の保健・医療制度全般の改善を求めるために全国すべての地域で「保険で良い歯科医療連絡会」を結成しよう。これ以上の歯科診療所、歯科技工士数の減少を食い止めるために。

各協会・医会、連絡会でおこなった歯科に関する活動や取り組みがございましたら、鈴木榛夏(h_suzuki@doc-net.or.jp)まで、原稿をお寄せください。歯科ニュースに掲載し、全国で共有いたします。写真もあれば、原稿と一緒に送ってください。よろしくお願いします。





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.1

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2024年10月15日 発行人：岩下明夫

いよいよ、署名活動スタート！

皆さん、いよいよ「保険でより良い歯科医療を求める署名」が本格的にスタートします！
この活動は、私たちだけでなく、人々の健康と福祉に関わる重要な取り組みです。
「保険で良い歯科医療を」全国連絡会に結集し、2025年6月通常国会にむけ、全国で頑張しましょう！



【請願項目は、下記の3点です！】

- お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合をさげてください
- 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください
- 歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください

【こんな問題があります】他にもたくさん、ありますよね

- ・自己負担増による受診抑制：治療費を心配した多くの患者さんが、必要な歯科治療を諦めています。
- ・歯科医療機関の継続難：低い診療報酬で歯科医療機関の継続が厳しくなり、地域での歯科医療の提供が困難になる可能性があります。
- ・歯科医療従事者の不足：低い待遇や過重労働により、歯科医療従事者が不足し、質の高い歯科医療の提供が困難になります。



さまざまな問題がある中ですが、だれもが安心して歯科医療を受けられる社会を実現するためには、私たちの声を国に届ける必要があります。多くの方に署名を呼びかけ、前に進んでいきましょう！

署名活動は、私たちの声を国に届けるための最も効果的な手段の一つです。

10/27(日)投票の衆議院選挙では、ホントに聞く耳をもった候補者を国会へ！

↓今度はコレ！



キックオフ集会

★全日本民医連歯科部

10/19(土)12:45～13:15 Web 開催(Cisco Webex Meetings)

★「保険で良い歯科医療を求める」全国連絡会

11/2(土)16:00～18:30



署名到達数

開始！/目標 20 万

10/27(日) 衆議院選挙 いのちとくらしにお金を使う政治へ転換を

*署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください。学習計画・目標を立て、職員で共有しましょう。
*歯科署名用紙の追加発送を受け付けています。歯科部事務局までご連絡ください



全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.2

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2024 年 10 月 30 日 発行人：岩下明夫

生協へいわ歯科診療所（香川）の取り組み



当院では、職場会議で「保険でより良い歯科医療を求める」請願書名についての学習会を社保委員会中心に行いました。最初に砂田所長・齋藤事務長から近年の歯科医療についての問題点や歯科署名の重要性などの想いを伝え、その後 3 つのグループに分かれ SGD を行いました。討議内容は保険適用範囲が拡大した場合のメリット・デメリット、日常診療で感じる疑問点や診療報酬制度に対する不満などについて積極的な意見交流を行いました。また配布シ



ールの QR コードから視聴できる YouTube 動画やリーフレットを参考にしながら訴えるポイントについて確認しました。SGD の報告では、署名を呼びかける上では『治療費負担の引き下げ』や『保険適用範囲の拡大』により『今より歯科にかかりやすくなる』という意見があがりました。



署名のお願いの方法に関して、診療室での声掛けが一番効果がでるのではないかと意見が多く、チャーターごとに署名用紙を準備して声掛けを行うことにしました。

今後、他事業所へは署名のお願いニュースを発行し、地域の組合員さんには集いの場へお願いに行くことなど、診療所外での取り組みも予定しています。

今年度、生協へいわ歯科診療所は開設 30 周年を迎えました。この間、経営状況の悪化や医師不足、新型コロナウイルス感染症など様々な問題に直面してきました。その中でも私たち歯科職員は地域に出て、口から食べることの大切さ、オーラルフレイル予防などについての話を続け、また急性期、回復期の病院との医科歯科連携を積極的に継続してきたことで経営も改善してきました。歯科署名の取り組み時期になると各方面から歯科医療の改善に向けてたくさんの声を頂きます。今後もへいわ歯科の医療活動を 40 年、50 年と続けていくためにもこの歯科署名は重要な役割を担っていると思います。



香川県唯一の民医連歯科事業所としてしっかり歯科医療の大切さを訴え、そして私たち自身が働きやすい歯科医療の実現に向け全職員一丸となって目標達成目指して頑張ります。



みんなの想いを伝えていこう！！

「署名キックオフ集会」の動画をホームページへアップしました！

10/19(土)に「保険でより良い歯科医療を求める」請願書名キックオフ集会を Web で開催し、69 会場から 200 名以上が参加しました。行動提起、各地の取り組みの報告があり、来年 5 月までの署名運動がスタートしました。

集会動画・資料をホームページへ掲載しましたので、学習会等でご活用ください。

【掲載場所】

歯科部ホームページ(<https://www.min-iren.gr.jp/shika/index.html>)→情報ページ→■保険で良い歯科医療を→■第 46 期

*署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください。学習計画・目標を立て、職員で共有しましょう。

*歯科署名用紙の追加発送を受け付けています。歯科18事務局までご連絡ください



全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.3

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2024 年 11 月 15 日 発行人：岩下明夫

生協歯科（兵庫・尼崎）の取り組み

今回は当法人尼崎医療生協の本田（ほんでん）診療所（内科、小児科、整形外科）で、毎回、署名目標を超えてたくさん集めているそのテクニックについてご紹介します。

前回、2023 年 2 月～2023 年 5 月の署名では、目標数 100 筆に対して、193 筆もの署名が寄せられました！



本田診療所の田付事務長に
200%近い達成の秘訣を伺いました



尼崎医療生協の「大腸がん検診キャンペーン」と期間が重なることを利用し、「大腸がん検診キャンペーン」のキット（写真参照）に署名を同封しています。署名をご自宅で記入後、返信用封筒にて返送しているため、効率よく署名に協力していただいています。

今年も 10 月からスタートしています！！

また、この歯科署名については組合員、患者、皆さんに快くご協力いただいています。

このような工夫を加えて歯科事業所だけでなく、各法人の事業所利用の患者さんに署名のご協力を広げてゆきましょう！

※「大腸がん検診キャンペーン」とは、毎年 10 月～2 月の期間に早期発見で手遅れの大腸がんをなくすための取り組みです。当法人では組合員は無料で検査を受けることができます



「保険で良い歯科医療を」全国連絡会主催「署名推進キックオフ集会」を開催しました！

11/2(土)に標記集会を開催し、主催者会場と全国 40 か所を繋ぎました。集会では、歯科医療情勢や歯科医師、歯科技工問題、子どもの歯科矯正保険適応拡大を求める運動の取り組み等を共有しました。歯科医療改善の運動を進める機会とし、来年 5 月まで全国で取り組んでいくことを確認しました。

署名到達数

(11/14 時点)

1,166 筆/目標 20 万

- ★ 署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください。学習計画・目標をたて、職員で共有しましょう
- ★ 署名用紙の追加発送を受け付けています。歯科部事務局までご連絡ください





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

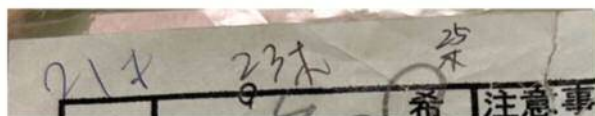
「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.4

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2024年11月29日 発行人：岩下明夫

北生協歯科（愛知）の取り組み

診療室では患者さん一人一人に署名用紙を渡しています

署名用紙を渡したらその患者さんのカルテファイルに「25ホ」と記入します。（「2025年保険でより良い歯科医療を求める請願署名」の略）2021年、2023年の署名行動の際にも同じ取り組みをしていましたので、右の画像のように、「21ホ」「23ホ」と書かれているカルテファイルも多数あります。患者さんにもお馴染みの署名となっていて毎回快く協力していただいています。11月末で774筆集まりました！



健康まつりの署名コーナー！

10月の健康まつりでも署名を集めました。これからも班会や集会などで広めていきます。



署名シール活用して

「ピカえもん」オリジナルグッズを作っています！

「ピカえもん」カレンダー



「ピカえもん」キーホルダー



11/14に全日本民医連事務局が入るビル（平和と労働センター）の団体へ岩下部長、西澤次長が署名協力の呼びかけを行いました。館内には、全国労働組合総連合（全労連）、労働者教育協会、日本国民救援会、原水爆禁止日本協議会、治安維持法犠牲者国家賠償請求同盟、日本美術会等があります。各団体の県・支部へも呼びかけをお願いしていますので、県連、法人、事業所でも県内の団体へ署名を呼びかけ、取り組みを進めましょう！



署名到達数

（11/28時点）

5,032筆/目標20万

- ★ 署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください（別添のExcel表）。学習計画・目標をたて、職員で共有しましょう
- ★ 署名用紙の追加発送を受け付けています。歯科部事務局までご連絡ください





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でよい良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.5

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2024年12月13日 発行人：岩下明夫

東京・相互歯科での取り組み紹介！

「共同組織拡大強化月間」と合わせて、医療懇談会・健康相談会、どけんフェスタなどで署名展開しています！



相互歯科では、事業所内の Dr・DH・DT・事務と管理で月間と歯科署名の「実行委員会」をつくり、診療室での訴え・全友の会会員への郵送のほか、地域の大手スーパーでの医療相談会、東京土建が開催した「どけんフェスタ」など、歯科署名用紙を持って出ていくように取り組んでいます。



片桐事務長は病院前で訴え



矢ヶ部事務主任は相談会でお願い



園田所長・本間医局長・小淵 DH
課長・篠原 DH・中村 DT 主任は
どけんフェスタで

保険で良い歯を東京連絡会「いい歯デー宣伝行動」



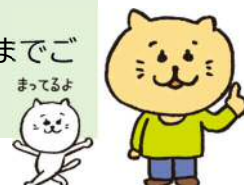
11/2(土)、保険で良い歯科医療を全国連絡会総会の前に、新宿南口で「いい歯デー宣伝行動(11/8 のイイハ)」を東京民医連歯科部と東京歯科保険医協会を中心に16名で行いました。当日は小雨模様のあいにくの天気でしたが、レインコートを着て風船配りをしながら歯科署名を訴えました。1時間程度の行動でしたが雨にも関わらず「11筆」の署名が寄せられました！

署名到達数

(12/12 時点)

14,093 筆/目標 20 万

- ★ 署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください。学習計画・目標をたて、職員で共有しましょう
- ★ 署名用紙の追加発送を受け付けています。歯科部事務局までご連絡ください





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.6

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2024年12月26日 発行人：岩下明夫

群馬での取り組み紹介！

利根歯科診療所

例年の取り組みからさらに幅広いアピールを目指して、管理会議の議題として検討しました。組合員さんに対しては、法人のくらしサポートセンターに相談し、次のように働きかけを依頼する方向となっています。

- ① 理事会組合員活動委員会で組合員さんへの協力依頼を行う
- ② 正副支部長会議等の組合員さんの会議で協力依頼を行う。

また、法人内の職員への協力依頼として、社保委員会で各事業所での協力依頼を行う予定としました。

協立歯科クリニック

- ① 法人内：法人常勤役員会で取り組みを確認。生協本部協力のもと、法人内全事業所へ署名用紙を配布し取り組みを開始。
- ② 地域：組合員活動課協力のもと、支部代表者会議等を通して各支部へ署名協力を依頼。法人機関紙上でも署名を紹介。
- ③ 事業所内：署名用紙とリーフレットを待合室に設置。生協強化月間終了後の来年1月から患者さんへの声掛けを始める予定。

はるな生協歯科

- ① 全職場（全職員）に配布して署名の協力をお願いしました。
- ② 緑十字機関紙配布時すべての配布者や理事に署名の協力をお願いしました。
- ③ 歯科診療所に署名コーナーがあり、全面的に署名の目的を訴える用紙を貼り、協力を呼びかけています。

（補足）

※署名期間が長いですが、職員に対しては、提出期限を設定した結果、現在約200枚の署名用紙が集まっている状況です。集まり次第県連に提出しています。

生協みなかみ歯科



予約カルテに署名用紙を挟み込み、診療終了後にスタッフから声掛けをして署名の協力をお願いしています。

シールの活用！



共立歯科センター（山梨）では、歯ブラシセット販売のパッケージに署名シールを同封しています。おかげさまで販売数が爆増しています♪



署名到達数

（12/25 時点）

21,220 筆 / 目標 20 万

★署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください。学習計画・目標をたて、職員で共有しましょう

★署名用紙の追加発送を受け付けています。

歯科部事務局までご連絡ください



全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.7

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025 年 1 月 17 日 発行人：岩下明夫

宮城の取り組み紹介！

■県連子どもの食糧支援活動で 45 筆

宮城民医連・少子化子どもの貧困を考える委員会は、12 月 21 日（土）に5回目の食糧支援を開催し、79 世帯 160 名の子どもさんが来場しました。

企画内容は、お弁当・生活物資・学用品の提供、保育士によるお遊びコーナー、医学生・看護学生のお勉強支援、歯科衛生士・保育士による歯科・子育て相談コーナー、介護・保育・歯科署名コーナーを設けました。

歯科相談では矯正診療について 2 件、保険でより良い歯科署名がその場で 45 筆、後日返信用封筒でもたくさん署名が送られてきています。子ども医療費無料化により保険診療は無料ですが、学校歯科検診で歯並びの指摘を受けても保険適応されない点に悩んでいる保護者が多いです。



■古川歯科

古川民主病院歯科では「今回こそ署名目標を達成しよう!」と職員会議で呼びかけました。前回までは返信用封筒に署名用紙を入れて受診患者に渡していましたが、今回は診療室で歯科医師・歯科衛生士が署名の説明を行い、その場で署名していただくこととしました。請願項目を説明することで署名の意義を伝え、あわせて郵便代金の節約にもなっています。また診療室で署名の説明をした際は、電カルの PC 画面の患者名に ☒ をし、診療室で声かけできなかった際は受付で声かけしてもらうようなシステムにしました。



1 月 23 日（木）には院内集談会があり、事務長が「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名の取り組みや成果を発表し、医科・介護職員に改めてアピールする予定です。まだまだ目標には到達していませんが、職員一丸となって取り組んでいます！

歯科事業所の無い青森では！

歯科事業所の無い青森民医連は、県連目標 2,000 筆を掲げ、12 月中に目標を超過達成しています。

「署名の取り組みを県連理事会で確認し、歯科署名も平和・社保運動の署名と同様に大事であると位置づけて取り組んでいます」(県連事務局 T さん談)

署名の到達を見ると、平和・社保・憲法はじめ、全ての分野でがんばっていることが分かります。県連の構えが大事ですね！

-歯科署名の目的-

1990 年代に始まった「保険で良い入れ歯を」の運動から現在の「保険で良い歯科医療を」運動へと継続していく中で、2024 年改定では学校歯科検診で歯並びを指摘されたこどもの「矯正相談料」が保険適用になるなど、一歩ずつ前進している成果もあります。しかし、社会的困難によって歯科受診が抑制される実態を解決するには程遠い現状です。

現在取り組んでいる署名は「お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください」「健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください」「歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください」の請願項目で、多くの患者・利用者、医療機関が賛同できる内容です。

歯科事業所だけでなく、県連の社保運動の重点課題の一つとして位置づけ、全職員、共同組織へ呼びかけましょう！





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でよい良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.8

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025年2月3日 発行人：岩下明夫

けんせい歯科クリニック（大分）の取り組み紹介！

昨年 10 月から歯科発信で法人全体を巻き込み署名活動を行っています。次のような働きかけを行いました。

- ① 歯科院所利用委員会で署名の説明と訴えのポイントを抽出。みんなで協力できる方法を相談し、すり合わせを行った。
- ② 歯科職場会議で、署名の説明と法人全体で取り組むことを確認した。
- ③ 健康づくり委員会で組合員さんへの協力依頼と署名用紙の配布を行った。
- ④ 県連理事会で署名について説明し法人内の職員へ協力依頼、職場ごとに用紙を配布
⇒次月の理事会で回収を行った。
- ⑤ この他にも週 1 ～ 2 回院所利用委員の方に歯科待合室にて患者さんへ説明し署名を促してもらった。また、11 月 8 日（いい歯の日）に隣接する健生病院待合室でも署名活動を行った。



➔2025 年 1 月現在 1358 筆！！（目標数 1600 筆）寄せられました

多くの方々の歯科医療制度改善に対する期待の大きさと受け止め、目標達成に向け一人でも多くお声がけしていきたいと思ひます。



けんせい歯科は開設 20 周年をむかえました。わたしたちは開設前から歯科に関わり、月 1 回はカムカム委員会（歯科院所利用委員会）を開催してきました。そのつながりの中で歯科診療に対する理解が深まっていたこともあって今回の【保険でより良い歯科医療を求める】請願署名への取り組みも協力が得やすかったのではないかと思います。また期限を決めて集中して取り組めたことも良かったと感じています。

（11 月 2 日 署名推進キックオフ集会での橋本副理事長の発言より）

■■■ 請願項目 ■■■

- お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください
- 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください
- 歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください

お名前	ご住所（〒）（※）（※）（※）
	〒 〇〇 〇〇 〇〇
	〒 〇〇 〇〇 〇〇
	〒 〇〇 〇〇 〇〇
	〒 〇〇 〇〇 〇〇
	〒 〇〇 〇〇 〇〇
	〒 〇〇 〇〇 〇〇

私のひとこと

<私のひとこと> に寄せられた国民の声

- 保険適用の治療範囲を広げてほしい。負担割合を下げてほしい
- 高齢に伴い医療のお世話になることが多くなり、かかる費用の心配も膨らんでいきます。中でも歯科治療は必須！食べることの大事さを痛感しています。是が非でも請願を受入れてください。
- いつも虫歯のトラブルで苦痛から助けてくださり、ありがとうございます。歯科医療に従事される皆様が、安心して将来に希望を持てるようにお願いします。
- 不正咬合治してあげたいけれど、かかる費用は 50 万円以上。保険適用があったらと思います。



★署名到達を毎月末に歯科部までお寄せください。学習計画・目標をたて、職員で共有しましょう

★署名用紙の追加発送を受け付けています。歯科部事務局までご連絡ください

署名到達数

（2/1 時点）

41,175 筆/目標 20 万



全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.9

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025年3月15日 発行人：岩下明夫

北陸（福井・石川）からの報告

Pickup! つるが生協在宅総合センター和



福井では、歯科以外の事業所の力も大きく、歯科から随分離れたところにある「つるが生協在宅総合センター和」では、毎回 200 筆以上と多くの署名を集めています。所長が中心となり、全職員に署名を配布し、協力を呼びかけていました。

「介護施設では口腔ケアの需要が高く、要介護者や認知機能が低下した高齢者は、上手く歯みがきをすることが難しく、歯や口に汚れが残りがち。問題を発見したら、積極的に歯科受診につなげていきたいと考えている。また、私自身、歯科受診の予約にもどかしさを感じる事が少なく、なかなか予約がとれない状況に妥協し、初期の虫歯治療を放置してしまうことがあります。全ての人がいつでも安心して歯科医療を受けることができるよう制度の充実を求めます」と森田所長からメッセージをいただきました☆



つるが生協
在宅総合センター和

Topic! 患者さんからの声掛け

石川より。自身の署名を書いた後に、「持って行って集めてきてあげる！」と仰ってくださった患者さん。月1の SPT（歯周病安定期治療）で来院されています。

「歯科医療は保険を使っても高額になってしまうこともあるし、自費治療はトラブルも聞いたりして心配…。みんなが保険で安心して治療を受けられるようになってほしいですね」



署名で伝えよう!

Day-to-day 日々の取組

城北歯科(石川)では歯科医師、歯科衛生士がチェアや待合室で署名を呼びかけ、受付で受け取っています。

2月末現在で歯科集約は 614 筆、歯科以外の事業所で 430 筆 合計 1,044 筆と目標 3,000 筆には遠いものの、頑張っています。

福井の 3 歯科職員は、診療室での患者への呼びかけに重きを置き、取り組んでいます。勿論、地域組合員さんにも呼びかけ、多くの署名を頂き、さかい歯科は2月末で目標達成率 92.5%まで達成しました！

昨年からの北陸、石川への支援ありがとうございます！

被災者で自己負担金が免除となっている方で、以前作った義歯(自費)が良かったと再作製も自費の義歯を希望された方がいました。保険適用で満足できる義歯ができれば…。食べることとは生きること。矯正も義歯も必要なものは保険で！

* 保険で良い義歯はできますが、患者さんの口腔内の状態や必要な技術によっては自費の義歯になることがあります

医科・歯科・介護従事者、患者の思いを受け歯科署名頑張りましょう！

4/14 (月) ~ 4/25 (金) は、
歯科署名運動強化 week です



昨年 10 月から取り組んでいる「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」は、20 万筆を目標に、全国で取り組みが広がっています。6 月には、集めた署名を国会へ提出する、国会行動を予定しています。残りの 3 カ月でさらに運動を広げるため、4/18(良い歯デー)を含めた約 2 週間を“歯科署名運動強化 week”とします。街頭宣伝や他団体への訪問、事業所に留まらない取り組みを企画しましょう！

詳細は、通達第ア-490 号(3/3 付)を参照してください。

集まった歯科署名を国会に提出できるよう、準備を進めています。

現在集まっている署名は、3/28 (金) までに全日本民医連までお送りください。

3/28 (金) 以降に集まった署名も随時、全日本民医連までお送りください。よろしくお願いいたします。





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.10

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025年3月27日 発行人：岩下明夫

「保険でより良い歯科医療」は みんなの願い！



各地の報告

組合員も一緒に取り組む署名運動
(医療福祉生活協同組合おおさか)



医療福祉生協おおさかでは生協の社保平和委員会への申し入れを行いました。日本では歯科治療に必要な技術や時間に対して、診療報酬が適切に設定されておらず、歯科医療機関の経営が圧迫されていること、保険適応でない治療も多く高額な自費診療を選ばざるを得ない場合もあること、お金の心配をせずに安心して歯医者にかかることが出来るようにするため、保険適応範囲を広げ、窓口での患者負担の引き下げを求める署名運動に協力を、と訴えました。この内容が法人理事会でも紹介され、歯科以外の職場や支部でも取り組みが行われています。

4/14～4/25「歯科署名強化 WEEK」に取り組もう！

- 【香川】:こどもクリニックと連携し、4/17(木)に商店街で宣伝行動を予定している。県連からも参加予定。
- 【山梨】:4/20(日)に学習会を予定しており、保険医協会など歯科職員以外へも参加を呼びかける。
- 【東京】:4/21(月)の県連歯科事務長会議後に JR 大塚駅前 で 60 分の宣伝行動を行う。
- 【岡山】:県連歯科委員会で取り組みを提起し、歯科事業所がない法人へも呼びかけを行う。また、倉敷では 7 歯科事業所合同で倉敷駅での宣伝行動を予定する。

全ての歯科で行動しましょう

署名到達数

(3/27 時点)

71,581 筆
(目標 20 万筆)

- * 6月5日(木)は「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」提出集会を行います。今からご予約下さい！！
- * 集まっている署名は頭書きを用いて、全日本民医連歯科部まで送ってください。詳細は「全民医発(46)第ア-272号の別添④請願署名の留意点」を参照して下さい





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.11

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025 年 4 月 15 日 発行人：岩下明夫

歯科奨学生会議を大阪で開催しました！



2025 年 3 月 29 日（土）～30 日（日）に全日本民医連歯科奨学生会議を開催し、歯学生 14 名、衛生士学生 7 名の 21 名が参加しました。今回は西成地区のフィールドワークやグループディスカッションを通し、SDH と民医連の医療活動を学ぶことを目的に開催しました。久しぶりに対

面で開催し、学校生活の近況や課題共有など、歯科奨学生同士のつながりの場にもなりました。

学習では貧困問題と日本の歯科医療の現状などを多岐にわたり学び、深めあいました。最後に、2 日間を通して、参加した奨学生たちが将来どのような歯科医療従事者を目指すかを発表しあいました。

また、学習の中で現在取り組んでいる「保険でより良い歯科医療を」請願署名運動の意義・目的や自らが主体的に取り組むことの大切さを訴え、参加した奨学生たちも署名しました。

更に、ほかの学生へも呼びかけ、運動を広げるために署名用紙を持ち帰ってもらいました。未来の歯科医療を担う歯科奨学生たちと自分たちの輝く未来の為にこの運動をより大きくし、たくさんの人たちへ呼びかけていきたいと思います。



4/14～4/25「歯科署名強化 WEEK」に取り組もう！

残り約 2 カ月弱の運動をさらに広げるため、街頭宣伝や他団体への訪問、要請行動等、診療室に留まらない行動を積極的に企画しましょう！詳細は、通達第ア-490 号（3/3 付）をご参照ください。

6/5（木）署名提出行動日です！

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」提出集会を行います。併せて、国会議員行動も行います。地元選出議員へのアポイント等、今からご準備下さい！！

集まっている署名を歯科部までお送りください！

提出集会に向けた準備を進めています。集まった署名は、全日本民医連歯科部まで送ってください。

<注意事項①：署名記載>

以下の署名は、無効になりますのでご注意ください！

- ★鉛筆、フリクションボールペンで記入したもの
- ★氏名（苗字）を「 // 」で記入したもの
- ★修正液・修正テープで修正されたもの
- ★印刷、FAX で送付されたもの

<注意事項②：全日本民医連への送付>

- ★ 頭書きを添えて、総筆数がわかるように提出してください
- ★ 署名をまとめる際、**ホッチキス**で閉じないでください。必ず**上部中央に穴をあけ、紐でまとめ**てください

署名到達数 4/15 時点
88,777 筆
(目標 20 万筆)

27 詳細は、通達第ア-272 号の別添④をご参照ください



全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でよい良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.12

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025 年 4 月 19 日 発行人：岩下明夫

21 筆の署名が
集まったよ！

4/18 よい歯デー行動

全日本民医連歯科部では、4/18（金）の歯科部会後、よい歯デーの署名宣伝行動を本郷三丁目駅（東京）で行いました。現在の歯科医療の実態や請願項目3点について訴え、署名協力と呼びかけました。学生や買い物途中の方、「これから歯医者へ行く!」という方が足を止め、歯科への要望や困っていることについて話をしてくれました。「歯科は高くて、痛くならないとなかなか受診できない」、「保険料払ってるのに、なんで窓口負担を払う必要があるの?」、「矯正が必要な子どもはたくさんいる」など、歯科への要望が多く出されました。

また、「やっぱり歯科医師を増やす必要があるね」「歯科治療を充実させてほしい、頑張ってください!」などの励ましの言葉も聞かれました。多くの人が行きかう中、21 筆の署名が集まりました。



また、街ゆく人の歯科受診の状況を把握するため、シール投票を実施し、97 名から回答を得ました。「定期的に歯科を受診していますか?」の問いに「受診している」が 65 人、「受診していない／できない」が 32 人でした。



民医連の署名目標は 20 万筆です！

*6/5（木）署名提出行動日です！

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」提出集会を行います。併せて、国会議員行動も行います。地元選出議員へのアポイント等、今からご準備下さい！！

*集まっている署名を歯科部までお送りください！

提出集会に向けた準備を進めています。集まった署名は、全日本民医連歯科部まで送ってください。

署名到達数：92,979 筆

各県連・事業所の到達数を全日本民医連歯科部まで報告してください。
ご協力、よろしくお願いいたします。





全日本民医連で
過去最高の署名到達を目指そう！

「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.13

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025年4月28日 発行人：岩下明夫

歯科署名運動強化 week



■東京での取り組み

4/14(月)～4/25(金)の約2週間で
歯科署名運動強化 week と位置づ
け、事業所外での宣伝行動等を呼
びかけ、各地で様々な取り組みが
行われました。

4/21(月)、東京民医連の歯科
事務長会議後に、大塚駅前宣
伝を行いました。30 分ほどの行
動でしたが、8 筆の署名があつ
まりました！



■山梨での取り組み



4/20(日)、よい歯デーの署名宣伝行動を甲府駅にて行ないました。歯科医療の実態や請願項目について訴え、署名や歯科受診の状況を把握するため、シール投票を実施しました。署名は 18 筆の署名が集まりました。シール投票では、55 名から回答を得て、「定期的に歯科を受診していますか？」の問いに、「受診している」が 40 人、「受診していない/できない」が 15 人でした。対話では、「弟が矯正をしていて母親が治療費が高い!とボヤいていた」、「息子が 30 年前に矯正をしていた。当時すごくお金かった。あれからまだ保険適用になっていないことに驚いた」、「歯医者は待ち時間が長い。歯科スタッフが増えれば改善されるのかな」、「ホワイトニングとか保険適用になってほしい」などたくさんの声をいただきました。



■北九州での取り組み



4/23(水)小倉駅前署名宣伝行動を福岡件歯科保険医協会北九州支部と初めて共同で行い、36 名が参加しました。街頭では、署名は、窓口負担の軽減や保険適用範囲の拡大、歯科医療に関する国の予算拡充等を訴え、40 分で 84 筆の署名が集まりました。メディアにも働きかけ、テレビ 3 社(KBC、RKB、テレQ)から取材を受け、夕方のニュースで放送されました。

■岡山での取り組み



4/23(水)倉敷駅北口、南口デッキにて、「保険でより良い歯科医療を」署名行動が行われ、倉敷医療生協の阿新・真備・倉敷・玉島・水島・児島歯科から総勢35名が参加しました。街頭での宣伝行動が初めての職員も多かったので、初めは緊張していましたが、新入職員や若手職員も積極的に声をかけ、1時間で21筆の署名が集まりました。また地元ケーブルテレビの取材があり、くらしき歯科所長の辻先生が署名の意義を語りました。6月の国会要請行動でこの署名を届けます!!



署名到達数 92,979 筆／目標 20 万筆



「保険でより良い歯科医療を」歯科部社保ニュース No.14

全日本民主医療機関連合会 歯科部 発行日 2025年5月8日 発行人：岩下明夫

北海道の取り組み紹介！

3/29（土）友の会と懇談

勤医協もみじ台歯科診療所職員と厚別健康友の会世話人会との懇談会を開催し、その中で保険でより良い歯科医療を求める請願署名の協力をお願いしました。署名とあわせて私のひとこともお願いし、「全部の歯が保険で治せるように」「安心して治療を受けられるように、保険適用の拡大、負担割合の引き下げをしてください」「金属アレルギーのためかぶせものを取り替えたが、自己負担が非常に高かった。改善を要望します」「米不足から始まった物価高騰！なんでもかんでも高くなって生活がとても大変です。年金あげて自己負担は下げてください！！」「栄養摂取の源である口腔内が健康であるには、入り口である歯を含めた口腔内が大切だと思います。経済的な理由で左右されない様、国民が等しく医療を受けられる社会でありたいと思います」という声が寄せられました。



4/24（木）強化 week



地下鉄麻生駅前にて署名宣伝行動を実施しました。今回の行動には、歯科関係者9名(きたく歯科6名、にしく歯科3名)、北海道民医連事務局3名、労組本部1名、勤医協福祉会2名の総勢15名で市民へ呼びかけを行いました。道行く市民に歯科医療の充実を求める声を届けるとともに、保険適用の拡充の必要性を訴えました。短時間の活動ながら、27筆の署名が集まり、「歯科医療の負担を軽減してほしい」「もっと気軽に受診できる制度が必要だ」といった声が寄せられました。歯科医療の充実に対する関心の高さが伺えるとともに、取り組みを継続することで、より多くの市民に歯科医療の課題を知っていただき、政策改善の後押しにつながるのではないかと考えています。北海道全体での署名数は今回も1万筆を超えており、全道の民医連の仲間や共同組織、さらには患者さんの多



くがこの請願に共感し、声を上げていることがわかります。今後もさらなる署名活動や啓発を進め、より広範な支持を得ながら歯科医療の改善を求めていきます。

勤医協札幌歯科・もみじ台歯科・札幌ふしこ歯科では4/24（木）に運動強化 week の行動の一環として、地下鉄菊水駅前で署名宣伝行動を行いました。歯科医療充実の必要性や歯科医療従事者の切実な状況を訴え、署名への協力を呼びかけました。わざわざ自転車から降りて話を聞かせてくれた方、買い物途中で足を止め、署名に協力した方々が多くいました。また、歯科医療に対する要望については「子どもの歯の矯正費用が高額で治してあげることができない」「入れ歯も保険適用だけどそれでも高く感じている」といった声がよせられていました。外に出て宣伝行動を実施することで、歯科医療充実に対する市民の関心の高さを垣間見ることができました。要求実現のためにも引き続き取り組みを前進させていきます。



5/1（木）メーデー

メーデー参加職員みんなで署名行動に取り組みました！当日は天気も良く、ポスターなどをもち、会場へ向かう参加者に署名の協力を呼びかけました。お口の健康や口腔ケアなど、協力してくれた参加者の歯科への関心や意識が高い方も多く、1時間ほどの短時間の取り組みで、400筆近い署名を集めることが出来ました。





おいしく長生きのまちづくりをめざして～歯科委員会より～

「保険でより良い歯科医療の実現」を 求める請願署名の提出はお済でしょうか？ 提出締め切り 5月31日（土）

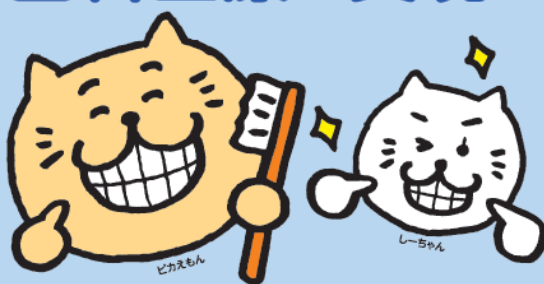
「保険で良い歯科医療を」全国連絡会では、2019年4月より歯科国会請願署名にとりこんでいます。前回（2023年）は、約17万筆の署名を国会へ提出しました。

6月5日（木）署名提出集会を開催します。この日に向けて署名のさらなる推進をお願いします。

5/27現在

745筆

保険でより良い 歯科医療の実現を



窓口負担を
引き下げて!!

保険適用範囲を
もっと広げて!!

歯科の予算を
増やして!!



あなたの願いを歯科署名で届けよう!!

いつでも、どこでも、だれもが、
お金の心配なく安心して歯科治療が受けられるために

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会（※印は国内）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新代々木ビル5F
TEL 03-3375-5121 FAX 03-3375-1885 <http://yosika.docnet.or.jp/>

日本医療福祉生活協同組合連合会

〒169-0073 東京都新宿区西大塚3-25-1 サンケンビル3F
TEL 03-4334-1580 FAX 03-4334-1585 <https://www.hew.coop/>

署名用紙は、**会員支援サイト**内の**全国発信文書（2024-491-1）**よりダウンロードできます。

歯科事業所だけでなく、医科事業所でもとりこんでいただき、歯科医療の危機打開、保険でより良い歯科医療の実現のために全国での運動を積極的に広げていきましょう。

請願項目

- ・ お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください。
- ・ 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください。
- ・ 歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください。





保団連歯科ニュース



ピカえもん

第394号

(A4-1枚)

シーちゃん



令和6年
1月27日

発行：全国保険医団体連合会

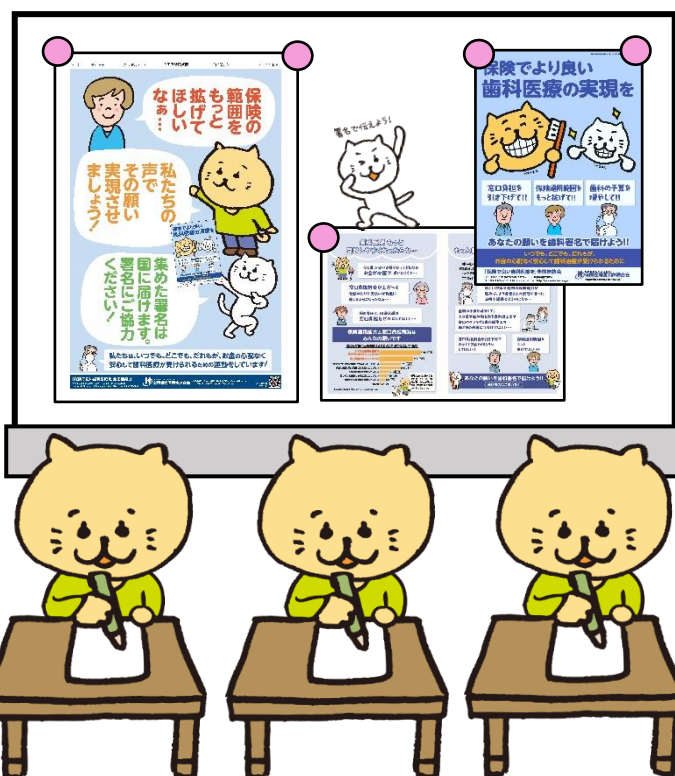
歯科署名推進！

院内掲示ポスターを作成

保団連は、歯科署名推進のための院内掲示ポスターを作成しました。ポスターは、2月5日号全国保険医新聞の折り込み用に届けます。その他の歯科署名宣伝物は、署名用紙、リーフ、ポケットティッシュなどがあります。

現在、協会・医会のみなさまから、署名用紙約46万枚、リーフ約23万枚、ポケットティッシュ約4万個の注文をいただいております。歯科署名運動にご活用いただいております。

署名集約数は、現時点で4万15筆（保団連、民医連合算）です。署名宣伝物と合わせて、ポスターもぜひご活用ください。



2月5日号折り込み用ポスター



保田連造科二ユ一ス



ピカエもん

第 395 号 (A4-1 改)

シ-ちゃん



令和7年
3月3日

発行：全国保険医団体連合会

**4/13(日)東海ブロック4協会
歯の電話相談を開催します**

4（よ）1（い）8（は）と読む語呂合わせから、4月18日は「よい歯の日」です。よい歯の日にちなみ、歯科医師による電話相談を行っている保険医協会の紹介です。4月13日には東海ブロック4協会が、電話相談を同時実施します。

歯のことも何でも 電話相談！

よい歯の日（4月18日）にちなんだ無料の電話相談
日頃から気になっている、相談できずにいる「歯」につ
いての悩み、に歯科医師が直接回答します！

【よくあるご相談例】

- 入れ歯のせいでよくしゃべる
のを悩んでいるってはいし！
- 子どもが歯をむしりかじる……
の歯磨きについて教えてほしい！
- 歯肉の病気に悩んでいます
歯肉が腫れやすくなるので歯肉の病気を
知りたい。

4月13日(日)
10:00～15:00

※知床の歯医者は専任スタッフが電話対応いたします。
※当院の相談窓口にはお電話できません。※お電話がくばりたくては、
※お電話によっては電話がつながらない可能性があります。

当日のお電話はこちらへ
☎059-252-1071 / 059-252-8747

主催 三葉療育協会
共催 「歯でよりよい未来社会を」三葉道会



三重協会

[illegible]

愛知協会

静岡県保険協協会 主催
その歯の悩み、歯科医師が答えます！
TEL：054-281-6845

**歯のなんでも
電話相談**

2025年4月13日(日) 10時～15時

「う歯が怖い」「かみ合わせが悪い」など、
歯がもたらしている体の悩みを歯科医師が答えます。
相談は無料です。予約・相談電話番号に非営業にお願いいたします！

① 心算早くください
・特定の医療機関のご紹介は致しかねます
・歯科医院は相談書籍のご紹介となります
・開始直後は混雑が予想されるため、つながらずにくいことがございます

参加4館で同時開催します

愛知歯科保険協協会	052-834-2020
岐阜県保険協協会	058-267-0711
三重県保険協協会	059-225-1071

静岡県保険協協会 静岡県浜田区浜田15-1 サウスポート 静岡市

静岡協会

**「ハ健康な
ミミ」**



**歯の
なんでも
電話相談**

- 入歯が合わず痛い、し
まじうかぶらぬように
直してほしい。
- 舌の色や口の臭いが気
になる。
- 歯から出血する。歯がし
みる。
- 口の中が動くが、抜いた
方がいいのか。

～など～

歯科医師が遠くへの悩みをお聞きし、アドバイスします。
無料相談ですので、お気軽にお電話ください。

**4月13日(日)
10時～15時**

**【当日受付電話番号】
058-267-0711**


岐阜県保健医療センター（愛知県の姉妹施設）に約1,700人を受けとる厚労省指定は、4月18日に4～6、18～19日の2日間、午10時、4時、5時に「歯のなんでも電話相談」を実施いたします。ご参加を希望されること、よろしくお願い申し上げます。お申し込みは各自治体の保健・福祉担当窓口へお問い合わせください。

会場 岐阜県保健医療協会
岐阜市吉野町6-14 大樹生命保険収付ビル6階
※受付：婦人・児童とも受付可能
※受付時間：受付先 058-834-2000
（即席県保健医療会）054-251-0645
（三重県保健医療会）059-225-1071 / 059-225-87-87

岐阜協会

各協会・医会、連絡会でおこなう予定のよい歯の日の活動や取り組みがございましたら、鈴木榛夏（h_suzuki@doc-net.or.jp）まで、原稿をお寄せください。歯科ニュースに掲載し、全国で共有いたします。写真もあれば、原稿と一緒に送ってください。よろしくお願いします。





保団連歯科ニュース



ピカえもん

第399号 (A4-1枚)

シーちゃん



令和7年
3月25日

発行：全国保険医団体連合会



保険で良い歯科



大阪連絡会 街頭宣伝スタート❀

大阪連絡会は、署名活動推進のために3月より協会理事会前宣伝（第2土曜日・13時～なんば周辺）、お大師宣伝（毎月21日・午前中四天王寺周辺）をスタートさせました。2つの宣伝で50筆を超える署名が集まり、多くの市民とも対話できました。

連絡会では4月・5月も宣伝を計画しています。



3月8日理事会前宣伝 ドクター6人が参加し14筆が集まりました。



3月21日お大師宣伝 ドクター1人が参加し41筆が集まりました。

大阪連絡会
では

署名集約数：約5000筆（協会：2518筆、民医連2500筆）3/24現在

目標3万筆達成に向けて頑張っています！



保団連歯科ニュース

第403号 (A4-1枚)

シーちゃん

令和7年
5月2日

発行：全国保険医団体連合会



佐賀県保険医協会

佐賀県歯科技工士会と懇談を実施

佐賀県保険医協会は2月22日（土）、多久市まちづくり交流センターあいぱれっとにて、佐賀県の歯科技工士の現状と問題点について佐賀県歯科技工士会と懇談会を行った。技工士会からは樋口寿郎会長、犬塚雅晴技対理事、落合充輝財務理事、寺崎太彦監事の4名、佐賀協会からは新井良一副会長、梅津健太郎、藤瀬恭平、中島雅典各常任理事と事務局が参加した。

技工士の高齢化 若者の技工士離れ

樋口会長は現在の佐賀の歯科技工業界について「歯科技工士の重労働と低賃金」「若者の技工士離れ」「技工士の高齢化」「小規模技工所の減少」などを挙げ、歯科技工士の置かれている過酷な現状を訴えた。

全国歯科技工所アンケートの結果では、技工所の開設者で30代未満はわずか4.4%、50代以上は8割超で高齢化は深刻、後継者が不在の技工所は8割を超え、優れた技工技術は確実に引き継がれないことが予想される。半数近くの従事者が週70時間以上の異常な長時間労働を強いられており、1週間の休日は「1日」が半数近くはあったものの、「ほとんどなし」が3割を超えていた。また、年収が300万円未満が約4割、500万円以下でも65%と長時間労働の割に低賃金だ。このような労働条件を背景に約3割が「5年後に自分自身が歯科技工士を辞めていると思う」と回答した。



技工士不足に効果ない厚労省の政策

超高齢社会の進行に伴い、義歯や補綴治療の需要は一層増加することが予想されているにもかかわらず、歯科医療を支える歯科技工士は高齢化が進み、若い歯科技工士の離職が増加し、深刻な技工士不足が進行している。厚生労働省が行っている現状のCAD/CAMシステムやIT技術の推進による業務効率化、歯科技工士の診療補助や訪問歯科への帯同は、かえって歯科技工士に時間的制約が増すばかりで、歯科技工士不足に対する政策としては効果が無い。労働条件への実効的な対策なしには、将来的な歯科技工士不足と技工技術の継承の断絶は避けられない。



保団連歯科ニュース

第404号 (A4-1枚)

令和7年
5月2日

発行：全国保険医団体連合会



「保険でよい歯を」広島プロジェクト メーデー集会で署名協力を呼びかけ



広島県保険医協会では、広島県民主医療機関連合会歯科委員会と『「保険でよい歯を」広島プロジェクト』を開始し、協力して署名活動を行っています。

5月1日、晴れ渡る青空のもと、メーデーの参加者に、歯科署名への協力を呼びかけました。

高齢の方から「いつまでも自分の歯で美味しく食事をしたい」、「全身の健康と関係していますから歯を大事にしたい。長生きしたいですね」、30代の方からは「被せ物をしてもらったけど高いですね。びっくりした」「仕事が忙しく、なかなか歯科医院に通えていない」などのコメントが寄せられました。

集会では、母親、高齢者、労働者、医療従事者、被爆者など様々な立場から切実な訴えがありました。国民の権利をないがしろにしている政治を許さず、憲法が生きる平和な日本にするために、団結することの重要性を感じられるメーデーでした。



歯科技工士も
一緒に署名活動

X SNSで動画やトピックスを配信

歯科を取り巻く問題を知ってもらい署名につながるように、X（旧 Twitter）に動画やコメントをアップ。これまで150を超えるトピックスをアップしています。



保団連では5月1日、代々木公園でメーデーに参加し、歯科署名151筆が集まりました。

福岡歯科協会 「保険でより良い 歯科医療を」宣伝行動を実施

福岡県歯科保険医協会と健和会大手町病院付属歯科診療所が、4月23日に小倉駅前で「保険でより良い歯科医療を」宣伝行動を行いました。その様子が、テレビや新聞で報道されましたので紹介いたします。

84筆の署名が集まりました 😊



FBS福岡放送



九州朝日放送[KBC]



TVQ九州放送[テレQ]



毎日新聞



保険でより良い 歯科医療を求め

小倉駅前 医師らが街頭署名

全国で集めた署名とともに国会へ提出

歯科医師や歯科衛生士ら約40人が23日、窓口負担の軽減や保険適用範囲の拡大など保険でより良い歯科医療を実現させるよう求める街頭署名を小倉北区のJR小倉駅前で行った。約50筆が集まり、全国の歯科医師らが集めた署名とともに国会へ提出する。福岡県歯科医師会と県歯科保険協会と健和会大手町病院付属

う。署名は治療費を心配することなく安心して受診できるように、社会保障の充実を求める。同協会の杉山正隆副会長(83)は、「市民の



URLからでもご覧いただけます

- ・「歯科医療負担軽減・保険拡充を」JR小倉駅前で署名活動
(九州朝日放送[KBC]、2025年4月23日)

<https://www.youtube.com/watch?v=OGKGVoGkOU>

→「近年の研究では、歯周病菌と認知症との関係などが指摘されていて、超高齢社会では、歯科医療がますます重要になる」とも報じられました。

- ・歯科医師たちが保険の適用拡大を訴え署名活動 「歯と口の中の健康は体全体につながる」
北九州市(FBS福岡放送、2025年4月23日)

<https://news.ntv.co.jp/n/fbs/category/society/fs0b09935639274763b4c242ad8384173f>

→「マイナ保険証の導入で受診を控える患者がいることに加え、医院側の経費負担も増えていると主張し、紙の保険証との併用も求めています」とも報じられました。

- ・保険でより良い歯科医療を求め 小倉駅前 医師らが街頭署名 全国で集めた署名とともに国会へ提出/福岡(毎日新聞、2025年4月24日)

<https://mainichi.jp/articles/20250424/ddl/k40/040/151000c>



保団連歯科ニュース

第406号 (A4-1枚)

令和7年
5月26日

発行：全国保険医団体連合会



香川協会 歯科署名活動報告

今回の歯科署名 1131 筆（5月中旬時点）を集約した香川協会さんに、署名活動のご報告をいただきましたので、紹介させていただきます。



今回の署名活動について教えてください。

香川協会では、保険でより良い歯科医療を求める署名の取組みを、全会員に協力を依頼するとともに、県内の労働組合約 300 団体と介護事業所約 800 か所に協力を依頼しました。



香川協会



多くの団体、県民の皆さまから歯科署名にご協力いただいているんですね。

今回の歯科署名に限らず、医療・介護・福祉等に関する署名については、以前(25年以上前)から協力依頼をしており、「協力したいので〇〇枚送って欲しい」「署名入りポケットティッシュを患者・利用者、家族などに配布するので送って欲しい」などの申し出もあります。



毎月街頭宣伝を行っているそうですね。

社保協が毎月 25 日に県内 3～4 か所の駅頭で早朝宣伝を行っており、宣伝物として署名入りポケットティッシュを活用しています。そうした取り組みによって、今回も 1000 筆を超える署名が寄せられました。長年、協会から署名の協力をお願いしていることにより、直接顔を合わせることもない団体、組織とのつながりが出来ていることは成果であると考えています。





保険連歯科ニュース

第407号 (A4-1枚)

令和7年
5月28日

発行：全国保険医団体連合会



岐阜協会

「歯のなんでも電話相談」を開催

市民の歯や口腔内の悩み相談に応じる

岐阜県保険医協会 地域医療部は、4・18（ヨイハ）にちなみ、協会歯科役員・部員が市民の歯や口腔内の悩みの相談に応じる「歯のなんでも電話相談」を、4月13日の10時～15時の時間帯で開催した。また同日・同時時間帯にて、愛知・三重・静岡の協会も実施しており、四協会合同で開催した。なお岐阜協会での開催は、今年で15回目となる。

当日は7人の歯科医師が相談員として市民からの相談に対応し、午前・午後合わせて、10件（午前4件・午後6件）の相談が市民から寄せられた。

幅広い年代から 相談内容也多岐にわたる

今回の相談者は40代～80代と幅広く、また1件は県外からの相談であった。相談内容也多岐に渡り、「朝起きると口の中がネバネバする。歯周病でないか心配」「歯の黒い汚れが気になる。歯みがきの仕方や食べ物がいけないのか」「時々歯がしみるが、神経を抜いた方がいいのか」「接着ブリッジにしたいと考えているが、通常のブリッジとどちらがよいのか」といった相談が寄せられた。



市民の相談に応じる相談員の歯科医師





保団連歯科ニュース

第408号 (A4-1枚)

令和7年
5月28日

発行：全国保険医団体連合会



静岡協会

「歯のなんでも電話相談」を開催

市民に寄り添い相談応じる

静岡協会 歯科部会は4月13日、「歯のなんでも電話相談」を協会事務所で実施しました。この企画は毎年4月18日を“ヨイハ（良い歯）デー”と設定し、県民に「口腔内を健康に保つことが全身の健康維持にも繋がる」ことを広く伝えるとともに、日頃は疑問に思っているにもかかわらず聞けないことなどを気軽に相談してもらうことを目的に、静岡・愛知・岐阜・三重の東海ブロック4県で同時開催しているものです。

歯科部会から清水・スミス・中島・溝口・安竹・渡邊歯科部員が担当となり、電話対応を行いました。1件の相談時間が50分近くに及ぶものもあり、対応した部員は相談者の不安な気持ちに寄り添いながら親身になって応えました。

悩みに耳を傾けアドバイス

相談者は50代～80代の年齢層で、Q.「差し歯を変えるにあたってメタルコアが太くて長いので、このまま歯根端搔爬するか、歯内療法専門医に任せるかどうしたらよいか。I型糖尿病があるのでインプラントも怖い」、A.「まずは歯内療法専門医に話を聞いてみるのもよいと思う。専門医は歯根端切除、根充もできるので相談してみてもどうか。インプラントにすぐしなくても小さな1本義歯もある」、Q.「左下4番の根のあたりに穴が空いて膿が出てきた。自費のクラウンを装着しており、かかりつけ医ではもう歯は残せないと言われた。他に処置はできないか」、A.「歯根部の骨吸収の程度にもよりますが、状況によっては歯根端切除という方法もある。膿がでてきたことから骨吸収が認められるため、抜歯となった場合は2～3ヵ月様子をみて、骨の回復を確認してから矯正を検討してはどうか。ただし病的に骨吸収が起きているため、健康な骨になるかどうかは判断が難しい」などやり取りが行われました。



歯のなんでも電話相談の様子





保険連歯科ニュース

第409号 (A4-1枚)

シーちゃん

令和7年
5月29日

発行：全国保険医団体連合会



愛知協会 「歯のなんでも電話相談」

「絵手紙コンテスト」を開催

電話相談 50 件 丁寧に対応

愛知県保険医協会歯科部会は、市民にむし歯予防や歯の健康に対して関心を高めてもらうため、4月18日を「よい歯デー」として、毎年取り組みを行っている。その取り組みの一つとして、「歯のなんでも電話相談」を4月13日（日）午前10時から午後3時まで保険医会館で開催した。

当日は協会の歯科部員16人が、4本の臨時電話で市民からの相談に対応した。中日新聞などでの案内を見た市民から続々と相談が寄せられ、合計50件の相談に応じた。

相談内容は、日頃の歯科治療の悩みを中心に、「詰め物をした歯がしみて困っている」、「歯を抜いた後にブリッジか入れ歯か選ぶよう言われた。どちらにするとよいか」「歯肉が下がっていて気になる」などが寄せられ、それぞれの相談に対し丁寧に答えた。

あわせて募集企画として行った「はじめよう 健康つくる お口ケア」をテーマとした絵手紙コンテストは、愛知県内の小・中学校を中心に1320点の作品が寄せられた。

歯科部会での審査の結果、最優秀賞に大野美穂さん（茨城県）の作品が選ばれ、その他、各賞に111点の作品を選出した。

5月中旬から入賞作品の展示会を愛知県内各地で開催し、5月下旬以降は愛知協会のホームページに掲載していく。

入賞作品掲載 URL→<https://aichi-hkn.jp/for-citizens/19927>



歯のなんでも電話相談の様子

歯科治療・入れ歯 “難民” の危機

技工問題と医院経営の窮状を訴え記者会見

診療報酬の増額で改善を

保団連は4月24日、全国歯科技工所アンケートと、2024年度診療報酬改定の歯科会員アンケート結果を受け、歯科技工問題と歯科医院経営の危機を訴える記者会見を行った。マスコミ7社が参加し、東京新聞では翌日の1面トップで報道された。

過労死ラインでも
年収300万円

全国歯科技工所アンケートでは、開設者の80%が50代以上で、「後継者がいない」と答えた技工所が83・7%。50%が過労死ライン（週60時間以上）の労働時間にもかかわらず、4割が年収300万円以下の賃金だった。歯科技工士不足の解決のために必要なことは、87%

が「技工料金の全体的な値上げ」を挙げた。その背景には歯科の診療報酬が低く抑えられている実態があり、歯科医療費の総枠拡大と患者負担の軽減で解決を図るべきだと訴えた。

「技工料金の全体的な値上げ」を挙げた。その背景には歯科の診療報酬が低く抑えられている実態があり、歯科医療費の総枠拡大と患者負担の軽減で解決を図るべきだと訴えた。

物価高騰などで「開院を検討」が倍増

歯科会員アンケートでは、上がらない診療報酬と物価高・医療DXによる経費増などで「開院を検討している」と答えた



宇佐美宏代表（上左）と森元副会長（上右）の記者会見を1面トップで報じた東京新聞

宇佐美宏代表は、「歯科技工士は高い加工技術が必要とされる仕事に見合った処遇にならねばならず、後継者不足や離職を招いている」と説明し、保険料を払っていても歯科治療が受けられない「入れ歯難民」、歯科治療難民」が発生する危機が迫っていると話した。その上で「歯科医療費の

療機関も含めて85%もの医療機関が再改定を求めていることを紹介した。患者、国民が安心して歯科医療を受けるためには住み慣れた地域に医療機関があることが大事で、そのためには適切な診療報酬を確保し、安定した歯科医院経営が必要だと強調した。

仕事に見合わない
処遇と診療報酬

森元主税副会長は、「厚労省はデジタル化やCAD/CAMの推進などで補綴需要に応えようとしているが、歯科技工所の大半を占める零細ラボは高額のシステム投資ができない。義歯などデジタル対応していない分野もあり、最後は歯科技工士の手が必要だ」と指摘した。

総枠と、補綴を中心とした診療報酬の引き上げ、歯科技工士に適切な技術料がわたる実効性のある取引ルールを作ることが必要だ」と訴えた。

参加した記者からは、歯科医療・補綴物の需要予測と比べて歯科技工士が不足することによる供給不安、歯科技工所の減少で保険の補綴治療が困難になるのか、などの質問があり、保険と署名で歯科医療を」運動と署名で社会問題化することが国の歯科医療政策を充実することになると応えた。



「歯科医療は崖っぷち」

歯科医師ら40人が駅前で署名活動

福岡県歯科協会と大手町病院付属歯科診療所は4月23日、北九州市のJR小倉駅前で「保険で良い歯科医療を」と署名を呼びかけた。歯科医師や歯科衛生士ら約40人が参加し、テレビ3社を含めマスコミ各社が報道した。参加した歯科医師らは、ポケットティッシュやチラシを配りながら署名の協力を求めたり、マイクを握って通行人に呼びかけた。

マイナトラブル止まらない

厚労省に保険証の存続を要請



厚労省は4月3日に後期高齢者全員に資格確認書を交付する方針を決定。強引な保険証廃止が行き詰まりを見せている。

保団連は4月24日、保団連のマイナトラブル調査結果を厚労省に示し、保険証の存続を要請した。

全ての人が歯科医療を受けられるために

請願署名にご協力をお願いします



雨松 真希人

歯科医療を取り巻く厳しい状況を打開するため、保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、昨年11月から請願署名の活動を開始した。この活動を進める意義や思いを連載で紹介する。

(第1回)

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の会長を務めておられます、雨松真希人です。日々、良質な歯科医療の提供に尽力されている先生方に、心より敬意を表します。

私は歯科技士として兵庫県神戸市で歯科技士所を運営する傍ら、歯科医師の先生方と共に全国連絡会の活動に取り組んでいます。当会では、昨年11月より「保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名」の活動を開始し、今年6月の提出を目指しています。現在、署名活動は折り返し地点を迎えています。

この請願署名では、保険適用範囲の拡大③歯科医療費の大幅な増額④窓口負担割合の軽減⑤このままでは歯科医療が成り立たない

私は歯科技士として、特に「歯科医療費の大幅な増額」の必要性を強く訴えたいと考えています。現在、日本の歯科は、低すぎる保険点数が原因で技工料が抑えられ、多くの技工士が低賃金・超長時間労働に苦しんでいます。

対立ではなく協力を

全国連絡会では、「歯科会」の開催や、保団連・技工問題を考える懇談、保険医協会と連携した

「日本の歯科技士を守る」・国民と共に協力して現状を変えていくことです。歯科技士所アンケートの実施など、さまざまな取り組みを進めています。ここで重要なのは、歯科医師と歯科技士が対立するのではなく、患者道となることです。

共に「保険で良い歯科医療」を実現しよう

「保険で良い歯科医療」が必要があります。

この厳しい状況を打開し、すべての人が適切な歯科医療を受けられる社会をつくるために、ぜひ技工士や歯科医師の労働環境を改善し、質の高い歯科医療を実現するために、科医療」の実現を目指しましょう！

全ての人が歯科医療を受けられるために

請願署名にご協力をお願いします



加藤 勇

歯科医療を取り巻く厳しい状況を打開するため、保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、昨年11月から請願署名の活動を開始した。この活動を進める意義や思いを連載で紹介する。

(第2回)

患者から

「署名に感謝」

歯科署名を始めた時に、患者さんから「このように取り組みをしてくださいます」と感謝されました。この経験から、趣旨が正しいものであれば強く訴えなくても患者さんが理解し賛同してくれる

「もう総入れ歯に」と医師から警告されていますが、お金のことが気になります。健康保険で受けられる範囲を増やしてほしいと切に思います」といった声を寄せる患者さんもあり、託される思い

の強さを実感しています。まずは一筆から忙しい診療の中で、患者さん一人一人への声掛けは負担になります。スタッフも診療のことでいっぱいなので、基本は待合室の真ん中の机に署名用紙を置いておくスタイルをとっています。それ以外には、スタッフやその家族、技工所、出入り業者さんなどをお願いしています。訪問診療の際に署名を持参する患者さんのご家族が集めてくださったり、外來でも自ら署名を持ち帰って、欄を埋めてきてくださったという患者さんも出てきました。



署名は決してノルマではなく、患者さんに声を掛けて署名への協力を訴えるというのは、大変なハードルです。まずは、ご自分の一筆、ご家族の分、スタッフの分、今まで運動に参加してこなかった先生方に参加していただくことがこの運動を大きく前進させると確信しています。気負わずに「まずは一筆から気軽に始めませんか？」とお伝えしています。

(愛知協会理事 加藤歯科医院院長)

全ての人が歯科医療を受けられるために

請願署名に
ご協力をお願いします

東京連絡会



歯科医療を取り巻く厳しい状況を打開するため、保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、昨年11月から請願署名の活動を開始した。この活動を進める意義や思いを連載で紹介する。(第3回)

友人・知人に声かけ

世話人代表 矢野正明



今まで、署名は歯科診療所の受付の方が中心になつて集めていましたが、今回、私の地元でも集めてみました。スキーにいつしよに行く友人に打ち合わせの飲み会をお願いしたり、地域の集会で顔を



各種団体の集まりで

世話人 橋本健一

各団体で構成されている地元の社保協に個人参加しており、定例役員会の際に署名活動の趣旨説明と署名用紙を配布しています。数年前から年金者組合に加入し、新婦人の会の新聞を購読していますが、それぞれの広報誌等の配布の際に署名



イイ歯デー街頭宣伝後の集合写真

委員会においても、同様の取り組みをしています。一筆でも多くのご協力を

東京母親大会の総会にて署名の協力依頼をしています。総会は毎年12月に開催し、約1200人集まります。総会前日、事務局員が東京母親大会事務所に赴き、署名用紙を含んだ総会資料の封入をお手伝いすることで、署名協力をしていただいています。おかげさまで451筆の署名の協力をいただきました。

また、2024年11月2日には「イイ歯デー街頭宣伝」を新宿駅前で行いました。あいにくの雨でしたが、結果として18筆の署名のご協力をいただきました。後日、署名用紙をわざわざ送っていただいた方は、私のひとこと欄に「歯科矯正治療が幅広い症状で保険適用されるようになってほしい。かみ合わせで身体に不調が出ていても保険適用外の治療となり辛い。活動応援しています」と記入がありました。「保険で良い歯科医療を」求める活動を続けることの大切さを実感しました。

東京連絡会は一筆でも多く協力してもらえよう各世話人ができることを工夫して行っています。小さな力も集まれば大きな力になります。ぜひ、署名活動にご協力をお願いします！

主張

歯科医療の提供体制が危機的状況にある。厚労省の医療施設調査(2025年1月末)によると、歯科診療所は6万6886施設で、前年同月比で889施設減少(個人立1246減少、法人立337増加)した。

各地で保険で良い歯科医療 連絡会の結成を

歯冠修復、欠損補綴等を製作する歯科技工士は、ピーク時は3千人強の国試合格者だったが、24年度は684人である。就業歯科技工士数はピーク時の3万6765人(02年)から約4千人減少し、その半数が55

不採算であるとの理由で、保険の義歯を受注しない歯科技工所がある。さらに技工士不足が進むと、義歯に限らずその他の保険の補綴物も不採算だと受注しなくなる(ことが予想される。公

7%である。「食べる」というQOL、健康寿命の延伸には歯科医療は欠かせない。このままでは、保険料を払っているのに保険の補綴物が提供されない時が来ることを、

科医療の充実を訴えていく以外にない。そのために「保険でよい歯科医療を」の署名を集めている。6月の署名提出集会に向けて、まずは先生の

患者・国民は知らない。政治の場や、マスコミの報道等でも、歯科医療問題は話題にならない。全国組織である保険医協会・保険医会が声を上げ、患者・国民を巻き込み、社会問題化し歯科医療の充実を訴えよう。この運動を担う「保険で良い歯科医療を」連絡会が11の地域で結成されている。「保険で良い入れ歯は国民の権利」「歯科医療従事者の技術と労働の適正な評価、経営と生活の確保」という問題の解決に向け、乳幼児から高齢者まで歯科の保健・医療制度全般の改善を求めるために全国すべての地域で「保険で良い歯科医療連絡会」を結成しよう。これ以上の歯科診療所、歯科技工士の減少を食い止めるために。

全ての人が歯科医療を受けられるために

請願署名にご協力をお願いします



宇佐美 宏

歯科医療を取り巻く厳しい状況を打開するため、保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、昨年11月から請願署名の活動を開始した。この活動を進める意義や思いを連載で紹介する。(第4回)

治らない歯科界の後遺症



現在歯科医療は未曾有の危機に直面しています。歯科医療機関の大半を占める個人開業医の減少に歯止めがかからない状況です。

従来から、歯科医療機関の経営困難は、歯科大学急増による歯科医師過剰によるものとされてきました。そこで国は、歯科大学・歯学部の入学生員の削減を図り、国家試験の合格率を引き下げるなどして歯科医師数の減少策を打ち出してきました。その結果で現在の歯科医師減少をもたらしています。しかし、歯科医療機関

の経営困難や、それに伴う歯科技工士の困窮の最大の要因は、国による多年にわたる低歯科医療費政策にあったことは誰の目にも明らかです。その低歯科医療費を補填するために国が選択した歯科医療政策が、歯科に特化した差額徴収制度です。日本の高度成長期に異常に肥大化したこの「保険で良い」は歯科ならではの

制度は、国民の多くに不評で社会問題化し、差額徴収制度は撤廃されましたが、いわゆる混合診療に類する制度は未だに温存されています。しかも、その結果残されたのは、公的医療費に占める歯科医療費のシェアの大幅ダウンでした。歯科はその後遺症から未だに回復していません。

が特徴です。そこで署名項目が、「窓口負担割合の引き下げ」「保険のきく範囲を広げてほしい」ということになっているの、国の署名で困難を打開しよう

今、諸物価の値上げに賃上げが追いつかない厳しい状況が続いているので、歯科受診の手控えが起きることが予測されます。また一方で、歯科医療機関の廃院ラッシュや歯科技工所の廃業も続けば、住み慣れた場所での歯科受診が困難となり、早晩に歯科医療難民、入れ歯難民が発生します。

健康は口から、ということが国民に定着しつつある現在、こうした不幸な事態を防ぐためにも、皆さんの歯科署名を集め、それを国に突き付け、歯科医療改善に取り組みることが急務です。状況は自ら打開しましょう。署名のご協力をお願いします。(保団連副会長)

全ての人が歯科医療を受けられるために

請願署名にご協力をお願いします



神原 啓太

歯科医療を取り巻く厳しい状況を打開するため、保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、昨年11月から請願署名の活動を開始した。この活動を進める意義や思いを連載で紹介する。(第5回)

歯科署名は一つの社会保障運動



全日本民主医療機関連合会(民医連)では今回の請願署名を昨年の10月から目標を20万筆に設定して開始しました。それに先立って行われた歯科所長事務長会議においてこの署名の意義として、未処置の虫歯を保有する4千万人の患者の存在や

各地での旺盛な取り組み この間の民医連内の取り組みはさまざまな形で広がっています。兵庫では近接する歯科診療所の

「大腸がん検診キャンペーン」の検査キットの中に歯科署名を同封して協力していただきました。東京では大手スーパーでの医療相談会や東京土建一般労働組合が開催する「ごけんフェスタ」で署名活動をしました。群馬、大阪、大分では地域の生協組合員にも協力を依頼して取り組んでいます。山梨では歯ブラシ販売パッケージに民医連で作成した宣伝QRコード付きのシールを同封しています。宮城では子どもの食糧支援活動と一緒に署名活動を実施。学校健診で歯並びを指摘されても受診できない保護者の関心の高さが明らかにな

りました。青森では民医連の歯科事業所はありませんが、短期間で2千筆を集めるなど歯科以外でも広がっています。福井では往診先の介護施設の所長が中心となって署名を集めていただき「介護施設における歯科の重要性とすべての人がいつても安心して歯科医療を受けることができるよう制度の充実を求めます」とのメッセージが寄せられました。石川では患者さんが署名を集めてくれる事例も。民医連歯科奨学生会議では学生たちも署名の意義について学び署名運動に参加してもらいました。

署名の重要性を再認識

投票では3割を超える方が定期的に歯科受診できていることになりました。(全日本民医連)

全ての人が歯科医療を 受けられるために

請願署名に
ご協力をお願いします



連絡会事務局

歯科医療を取り巻く厳しい状況を打開するため、保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、昨年11月から請願署名の活動を開始した。この活動を進める意義や思いを連載で紹介する。

(第6回)

今こそ必要な 「保険で良い歯科」

昨年11月のキックオフ集会から取り組んできた歯科署名の提出行動を6月5日に行います(ウェブ併用)。署名は5月中旬時点で、約15万筆(全日本民医連、保団連集約)集まっています。

集会の前後では全国から集まった参加者で署名を紹介議員に手渡しして回ります。

全国での多彩な 取り組みや活動

全身の健康の維持・向上と口腔の健康は密接に関わっています。必要な医療が享受・提供できるように、患者・国民、医療従事者から今こそ「保険でより良い歯科」が必要との声を国会に届けましょう。

集会では、患者、高齢者施設関係者からの声、

き生活協同組合コープみえの協力を得て、コープ利用者に署名の協力を依頼しました。

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会に加盟する愛知協会では、協会紙の連載記事で先生方の診療室や待合室での取り組みや署名運動への考え方などを掲載しました。

加盟団体の全日本民医連では、ヨイハデーに係る全国での取り組み呼びかけを行い、患者さんの声を集める対話を中心とした活動を展開する等、全国で多彩な活動が行われてきました。

現在、多くの国会議員からメッセージや集会の参加報告をいただいております。集会はZoomからもご参加いただけます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

私たちの願いを実現させよう

歯科署名提出集会

近年、お口の健康と全身の健康の関係に注目が集まっています。歯科受診をしたいけど、「お金が心配」「保険の範囲を広げてほしい」そんな国民の声が多数寄せられています。すべての人が安心して歯科医療が受けられるように、集会で私たちの願いを届けましょう。集金への参加、お待ちしております。

日時 2025 6 / 5 (木) 12:00~13:00

会場 参議院議員会館B104会議室 および Web

プログラム

- ① 開会挨拶 (雨松真希人会長)
- ② 補足発言 (宇佐美宏副会長)
- ③ 各地、各分野からの発言
- ④ 閉会挨拶 (若下晴夫副会長)

Web参加

ZoomのURL: <https://x.gd/mYXx1>
ミーティングID: 838 6396 3976
パスワード: 700619

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館5階
TEL: 03-3375-5121 FAX: 03-3375-1862 e-mail: yoisika@doc-net.or.jp



発行所
香川県保険医協会
〒760-0057 高松市旅籠町14番地8
TEL 087(802) 1335
FAX 087(802) 1336
e-mail: kkyoukai@kagawahihik.com
発行人 太田展生
定価200円(会員の購読料は会費に含まれています)

成人の八割が、歯周病といわれ、通院困難な高齢者や障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズが高まっています。「保険で良い歯科医療」の運動は患者さんにとって必要な技術や材料が保険で扱えるように改善する。窓口負担を軽減して、誰もがお金の心配がなくて、安心して歯科医

保険でよい歯科医療をもとめて

療を受けることができるようにするなど、国民が安心して保険で良い歯科医療を受けられる制度に変えていく運動です。生きることは食べること。より良く食べることは人生を豊かにします。おいしく食べるには、健康なお口が不可欠です。

歯科治療が必要な方でも、受診ができてない場合が多い

くあります。「忙しくて受診する時間がな」「お金がか」配で歯科医院に行きたくなど理由がよく挙げられな。高齢者や障害者の方では、公共交通機関が不便、交通費や医療費の経済的負担が原因で通院が困難と感じられる方も多くいます。

例えば学校歯科検診で「不正咬合」を指摘され、歯

かの「相談 部分が保険適用
になりました。ただし、保険
で歯科矯正ができる条件は
狭き門のため、条件の緩和
が必要です。」

歯科医療が必要な方全て
に提供されることは基本的
な権利に由来した健康に生き
る権利、憲法25条で保障さ
れた国民の権利です。国は
社会保障として誰もが必要

歯科の抱える諸問題による窮状を打開するには「歯科医療費の総枠拡大」による診療報酬の大幅な引き上げしかありません。質の高い医療を受けける制度を作っていくために、「保障により良い歯科医療を」求める請願署名のご協力を何卒よろしくお願ひいたします。

主
張

各協会紙で歯科署名への協力の呼びかけ

協会は、保国連が加盟する「保険で良い歯科医療をする全国連絡会」が実施する署名への取り組みをスタートします。

中医協では来春から2026年診療報酬改定の議論が開始されます。診療報酬の改定に医療従事者や国民の声を反映させるためには、来年6月下旬まで開催

される通常国会に声を届けることが不可欠です。

今回の診療報酬改定は、医師・歯科医師とも到底納得できるものではありませんでした。

医科では特定疾患療養費管理料から三疾患が外されたことにより多くの医療機関で減収となっているとの声が聞かれます。

歯科では、施設基準の人員要件・実績要件の強化で、経営の二極化が顕著となっており、管理料や加算項目の新設で診療報酬請求が一層、複雑化しています。

患者・国民にとって、受診した医療機関によって自己負担金が異なるとは、保険医療制度への不信につながっています。

これらは政府の医療費抑制策の影響があることは疑いようもなく、とりわけ歯科においては歯科医療費の総枠を拡大して、歯科診療報酬を大幅に引き上げる必要があります。

て、医科歯科一体の運動として取り組んでいます。ぜひ医科の先生方からのご協力をお願い致します。

署名用紙やリーフレットの追加をご希望の先生は下のQRコードからご注文ください。

【請願項目】

- 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください
- 歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください



注文フォーム

木保險醫新聞

発行所
栃木県保険医協会
宇都宮市住吉町1-10
TEL 028(666)7814
FAX 028(666)7815
発行人 長尾 月夫
購読料 会費 3,500円
勤務医 3,000円
(機関紙代を含む)

□ 主 な 内 容 □

- 1面 「保険でより良い歯科医療」実現を目指す
2〜3面 マイナ保険証（オンライン資格確認）をめ
4面 とちぎ健保がより AMAGA REP
付録 知らないかと損する！ 相続事業承継コラム



《発行所》
広島県保険医協会
〒732-0825 広島市南区金屋町2番15号
KDX広島ビル4F
TEL 広島 (082) 262-5424
FAX 広島 (082) 262-5427
E-mail: info@hiroshima-hokeni.jp
発行人 長谷 憲
購読料 年 2,400円
(送料共 俱し、会費は会費に含まれる)

[illegible]

保険でより良い歯科医療を!

窓口負担割合の引き下げ、保険適用範囲の拡大を求める請願署名にご協力ください。

協会はいつでもどこでも、治療が、お金の心配なく、歯科治療を受けられるよう、広島県民医療歯科連合部の取組の中心に「保険」といふ歯を広島プロジェクトを立て、「保険」でより良い歯科医療を求める請願署名を開始しました。

国民生活は、物価高騰、水道光熱費の値上がりなどの影響で、大変な状況に陥っています。経済的理由による急増抑制も懸念されているとは言え、また、健康保険の適用範囲は、学校歯科健診など「不適合」指摘され、歯科矯正が必要で、場合により保険が適用されず、保険外診療の負担が治療費に計上されてしまっていることもあります。2024年度診療報酬改定では、学校歯科健診後に歯科矯正が必要が各府の相談部分に保険が適用されます。したが、保険で歯矯正ができる要件は、狭き門にすぎません。

長年仕えたる政府の歯科医療費抑制策、オンライン質問相談、セルフケアプラン、請求の義務化や物価高騰などが影響し、地域医療を支える歯科医療機関の経営破綻しを減らす、問診例

障がいにともなって増加してきている患者さん。歯科医師、スタッフ、患者さん、民の「保険でより良い歯科医療を!」を求める顔を実現するために、多くの先生方の署名協力を願います。

※願項目
○お金の心配をせず、安心
○歯科医療を受けられるよう、
○口内負担を下げられること
○健康保険で受けられる歯
○歯の価値を広げてください
○歯科医療の充実に必要な予算を確保してください

署名、リーフレット
医療機関スタッフ、患者さんや患者さんのご家族など、年齢・性別問わず、どなたでも署名していただけます。待合室などで、リーフレットとともにご活用ください。

署名の活用
国会議員を通じて国会（衆参両議院議長宛）に提出する予定です。ご願署名は国民の要求を国会に反映させる有効な手段の1つです。

追加注文は
署名用紙、リーフレットの追加注文は、お申し込みでお届けします。協会事務局までご連絡ください。（TEL 082-262-5424 FAX 082-262-5427）

保険でより良い歯科医療を 署名へのご協力をお願いします

当会は「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」に取り組みます。日本の歯科治療や健診の受診率は低く、「お金が心配」「受診する時間がない」といった理由がよく挙げられます。

また学校健診などで不正咬合を指摘されても、必要な治療が保険適用外になっていて治療を諦めてしまうケースもあります。昨年6月の診療報酬改定では、学校歯科健診の後、矯正が必要か歯科医に相談することが保険適用となりましたが、未だ保険適用内での矯正治療は限られた先天性疾病等のみとなっています。歯周病は食生活に支障を来すだけでなく、心疾患や糖尿病とのつながりがあると知られており、健康に生活するためにも歯科治療は欠かせないものです。

「保険でより良い歯科医療を求める署名」にご協力を

私たちは患者・国民の立場から、「お金の心配なく安心して歯科医療を受けたい」、「健康保険で受けられる歯科医療の範囲を広げてください」と願っています。ぜひ「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名にご協力ください。これまで署名に協力いただいた方も、再度協力をお願いします。これまで署名は紙で実施していましたが、今回は「オンライン署名」で行います。

■署名の仕方

1. 右のQRコードを読み込んでください。
2. 右下の赤い「今すぐ賛同」をクリックしてください。
3. 入力いただくご自身のアドレスに承認確認のメールが届きます。届いたメール内の承認用URLをクリックすると賛同完了です。



保険でより良い 歯科医療の実現を



今回実施する署名は窓口負担割合の低減や保険適用範囲の拡大、歯科医療費の総枠拡大などを要求し、誰もがより良い歯科医療を受けられるようにすることを求めるものです。

会員のみなさんには、署名用紙を同封しておりますので、ご協力をお願いします。追加の署名用紙がご入用でしたら当会までご連絡ください (TEL 019-651-7341)。

協会は、全国保険医団体連合会が提起する「保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名」に取り組みます。歯科医療費の総枠拡大、来年に予定される歯科診療報酬改定での改善をめざして実施しているものです。会員の先生方には3月上旬に署名用紙をお送りしてお



歯科署名にご協力を！



署名用紙

署名用紙の追加、患者向けリーフレット、ハガキ署名入りポケットティッシュを希望の先生は、協会事務局までご連絡ください。

電話：059-225-1071 FAX：059-225-1088

【請願項目】

- お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください
- 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください
- 歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください

【歯科署名の力!! 改善された項目】

- ・初再診料の引き上げ
- ・歯科矯正相談料の新設
- ・診療情報等連携共有料の適応拡大
- ・歯科訪問診療料の時間要件の一部撤廃
- ・歯管の算定規定の廃止
- ・手術時の麻酔薬剤料の算定
- ・CAD/CAM冠の適用拡大 など

保険でより良い歯科医療を求める請願署名
歯科医療の充実・改善を求めて！
まずは先生の筆から協力ください！
取り組みは来年5月まで
中医協では、例年春から2026年診療報酬改定の議論が開始されます。診療報酬改定に医療従事者や国民の声を反映させるためには、来年6月まで開催される通常国会に、私たちの声を採択させることが大切です。歯科署名に医療現場の声をのせて

不信や分断が持ち込まれています。請願署名は、患者・国民が経済的な心配をせずに歯科治療が受けられるよう窓口負担割合の軽減、歯科医療技術の保険適用拡大、その財源を国の責任で確保するよう求めるものです。これらは、患者・国民だけでなく、医科・歯科共通の要求です。ぜひ、会員の先生、医療関係スタッフ、患者さんのご協力をお願いします。

**保険でより良い
歯科医療の実現を**

保険でより良い歯科医療を
求める請願署名

ご協力を開始しました!!
ご協力をお願いいたします

来年度の診療報酬改定に向け、協会・保連は「保険でより良い歯科医療」の実現を目指す請願署名をスタートします。請願項目は▽患者窓口負担の軽減▽保険で受けられる範囲の拡大▽歯科医療費の増額の3つ。署名は6月の通常国会への提出に向け、全国で活用が呼びかけられます。

健康と口腔の健康と全身の健康との密接な関係が明らかとなり、近年は歯科医療の重要性が高まっている一方で、物価高騰による経済的負担増などを背景に、受診控えや未受診による口腔内の健康悪化も懸念されています。まさに保険でより良い歯科医療の実現が急務と言える状況です。

活用を想定して、歯科会員の先生方には、リーフレットと署名入りポケットティッシュの見本を本紙に同封しています。リーフレット・ポケットティッシュ各100個で、無料で何セットでも申込みできます。

保険でより良い歯科医療を願う、たくさんの方を国に届けるため、ぜひご協力をお願いします。

診療報酬改定に向け「保険でより良い歯科医療」請願署名開始

保険医年金を解約した先生へ

■昨年中に保険医年金を解約もしくは減額し、一時金として受け取った先生は、今年の確定申告の際、一時所得としての申告が必要です。一時所得は、他の一時所得と合算し、利息部分から50万円を差し引いた残りの部分の2分の1の額が課税所得となります。解約時に郵送された受取人への支払通知に支払金額、累計払込掛金、累計払込保険料が明示されています。確定申告の際には、経費として、累計払込掛金の額をご記入ください。

■保険医年金を年金として受給中の先生は、年間に受け取る額のうち利息に相当する部分が「雑所得」となります。

請願項目

- お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください。
- 健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください。
- 歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください。

署名、リーフレット

医療機関のスタッフ、患者さんやそのご家族など、年齢・性別問わず、どなたでも署名していただけます。待合室などで、リーフレットとともにご活用ください。

署名の活用

国会議員を通じて国会（衆参両議院議長宛）に提出する予定です。請願署名は国民の要求を国会に反映させる手段の一つです。



愛媛県保険医協会は、保険で良い歯科治療ができるよう日々活動しています。健康と密接な関連のある口腔の状態を保つこと、子どもの成長においても保険で矯正する必要性が不可欠と言われています。しかし、窓口での窓口負担への心配、物価高騰による生活費切迫のため、歯科医療機関への受診を控えるといった声も聞かれます。

歯科医療機関では、長年にわたる医療費抑制策の下で、新型コロナウイルス感染症拡大による経費増や物価高騰などにより、歯科医療機関の経営は厳しさを増し、閉院・倒産が増加しています。とりわけ地方の歯科医療に打撃となり、歯科医療にアクセスできない患者が増加することにつながります。

安い掛金で大きな保障！ご家族への保障は十分ですか？

新グループ生命保険

締切日 毎月20日
加入日 翌々月1日

1. 安い掛金で最高6,000万円の高額保障
 2. 配偶者も最高3,000万円のセット加入OK
 3. 剰余金が生じた場合は、配当金として還元
 4. 医師による診査不要
- 過去5年平均の配当率は約20%です

ご加入例

58歳・男性  保険金額 4,000万円 月額掛金 18,560円	50歳・女性  保険金額 5,000万円 月額掛金 8,150円
43歳・男性  保険金額 6,000万円 月額掛金 9,060円	37歳・女性  保険金額 3,000万円 月額掛金 2,760円

お問い合わせは事務局まで ☎089-989-2511 ✉info@ehime-hk.org

今月号に同封しています

**保険でより良い
歯科医療の実現を**

ご協力を開始しました!!
ご協力をお願いいたします

歯科署名にご協力を お願いします

愛媛県保険医協会は、保険で良い歯科治療ができるよう日々活動しています。健康と密接な関連のある口腔の状態を保つこと、子どもの成長においても保険で矯正する必要性が不可欠と言われています。しかし、窓口での窓口負担への心配、物価高騰による生活費切迫のため、歯科医療機関への受診を控えるといった声も聞かれます。

歯科医療機関では、長年にわたる医療費抑制策の下で、新型コロナウイルス感染症拡大による経費増や物価高騰などにより、歯科医療機関の経営は厳しさを増し、閉院・倒産が増加しています。とりわけ地方の歯科医療に打撃となり、歯科医療にアクセスできない患者が増加することにつながります。

愛媛県保険医協会は、保険で良い歯科治療ができるよう日々活動しています。健康と密接な関連のある口腔の状態を保つこと、子どもの成長においても保険で矯正する必要性が不可欠と言われています。しかし、窓口での窓口負担への心配、物価高騰による生活費切迫のため、歯科医療機関への受診を控えるといった声も聞かれます。

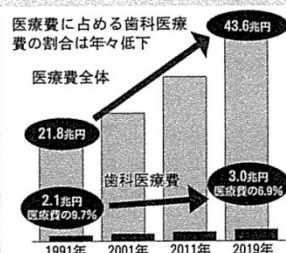
歯科医療機関では、長年にわたる医療費抑制策の下で、新型コロナウイルス感染症拡大による経費増や物価高騰などにより、歯科医療機関の経営は厳しさを増し、閉院・倒産が増加しています。とりわけ地方の歯科医療に打撃となり、歯科医療にアクセスできない患者が増加することにつながります。



一署名ご協力のお願いー 保険でより良い歯科医療を！いのちと健康を守る予算の拡充を求めます

歯科協会は、昨年10月から、「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名に取り組んでいます。国の予算を増やし、患者に寄り添った歯科医療を実現するため、署名にご協力をお願いします。

歯科診療報酬は、長年、低く抑えられてきたため歯科医院の経営は困難になりつつあります。また、新しい技術や歯科材料の適切に保険収載されず、患者の状態に応じた治療の選択肢が限られています。集まった署名は、請願の紹介を引き受けてくれる大阪選出の国会議員を通じて、6月5日に提出します。



あなたの願いで歯科署名を届けよう!!

- 保険適用範囲をもっと広げて!!
- 歯科の予算を増やして!!
- 窓口負担を引き下げて!!

下記の2次元コードより
アクセス可能



署名用紙・ティッシュ署名・リーフレットの注文は、歯科協会（06-6568-7731）または2次元コードから。

解説 保険で良い歯科医療を 総枠拡大の先に見えるもの①

歯科低医療費政策と自費診療の容認

協会・保連連は、2026年の歯科診療報酬改定に向け、保険でより良い歯科医療の実現を求める「請願署名に取り組みたい」。署名が求められる歯科医療費の総枠拡大が実現した先にはどのような展望が開けるのでしょうか。

歯科医療を取り巻く歴史と現状をふまえて、宇佐美宏副会長（保連連歯科代表）に、歯科界の歴史を振り返り、解説いただきます。

1961年に施行された「国民皆保険制度」は、療が受療可能となった。二年後に日本医師会が、医科はその後新素材「制限診療」撤廃宣言を、新技術を積極的に保険導入することにより、医科に、入る道を選び、保険診療の拡充が進み今日に

それに対し、歯科は、皆保険制度発足以、前から施行されてきた保険診療と自費診療が混在する。歯科衛生士法が成立し、診療補助が追加され



宇佐美 宏
保連連歯科代表、協会副会長

「保険でより良い歯科医療の実現を」

「お金の心配をしないで歯科治療を受けたい」、「丈夫で違和感の少ない入れ歯や自然の歯の色に近いかぶせものなどを保険適用してほしい」という患者さんの願いは切実です。

署名は歯科医療の改善に向けた大きな力になります。例えば、学校検診で歯並びについて指摘があった児童の相談料の保険適用、磁石を使った着脱できる入れ歯が保険適用、自分の歯の色に近いかぶせ物に保険適用、が署名で実現しました。

保険でより良い歯科医療の実現を求める署名にご協力をお願いします。



保険でより良い歯科医療 請願署名にご協力をお願いします

「お金の心配をしないで歯科治療を受けたい」、「丈夫で違和感の少ない入れ歯や自然の歯の色に近いかぶせものなどを保険適用してほしい」という患者さんの願いは切実です。

署名は歯科医療の改善に向けた大きな力になります。例えば、学校検診で歯並びについて指摘があった児童の相談料の保険適用、磁石を使った着脱できる入れ歯が保険適用、自分の歯の色に近いかぶせ物に保険適用、が署名で実現しました。

保険でより良い歯科医療の実現を求める署名にご協力をお願いします。



「注文票」でお申込みいただけます

千葉県保険医新聞第814号（4月1日発行）1面の「注文票」、または協会からFAXで別送した「保険証の復活と保険でより良い歯科医療を求める署名と政策リーフレット、ポケットティッシュ活用をお願い」から署名、リーフレット、ポケットティッシュをお申込みいただけます。無料でお届けします。

「注文票」の□に✓を入れ、必要部数をご記入の上、FAXでお申込みください。

なお、ポケットティッシュは、1箱か2箱のどちらかをお選びください。リーフレット、チラシは50部を1セットとします。セット数をご指定ください。

歴史的経過も振り返り運動への力に

解説 保険で良い歯科医療を 総枠拡大の先に見えるもの②

土光臨調以降の医療費抑制医科・歯科それぞれの道

協会・保連連は、歯科医療費の総枠拡大を求める「保険でより良い歯科医療の実現を求める」請願署名に取り組みたい。

前号に引き続き、宇佐美宏副会長（保連連歯科代表）に、歯科医療を取り巻く歴史と現状を解説いただきます。

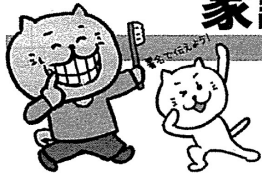
歯科医療の 失われた16年

悪徳歯科医キャンペーンがはじかれ、社会問題化から始まった新自由主義強化の動きであった。（1976年）されて以降、厚生省も歯科保険診療拡充の必要性を認め、日本歯科医師会との間で、保険診療拡充に向けた診療報酬改定に新たな財源を設けず、医科に占める歯科医療費の割合を減らすという抑制策を打ち出した。診療報酬改定に新たな財源を設けず、医科に占める歯科医療費の割合を減らすという抑制策を打ち出した。診療報酬改定に新たな財源を設けず、医科に占める歯科医療費の割合を減らすという抑制策を打ち出した。

NIKKの特番「噛めない・話せない・笑えない」――入れ歯のハナシ」である。この運動の教訓は、国民に共感を得られるような大きな社会運動によって世論が喚起されれば、国を動かすことが可能であることが証明されたことである（眼内レンズ運動、ナースウェーブも同様）。

番組の中で、時間のかかる複雑な作業工程を経て作られる入れ歯を評価する保険点数が低過ぎることが、入れ歯への不満の大きな要因である（当時の京大・西村周三教授と指摘されたことを受けて、患者・国民と医療関係者の双方が手を取り合っている大運動となり、社会的に大きな反響を呼び起こした）。

国会でも多くの与野党議員による質疑や自治体の過半数の意見書採択が行われたため、厚生省も無視できずに義歯の保険点数評価の調査を行い、レジン床義歯が不採算であることを認め、総義歯



家計が厳しい今こそ、患者負担の軽減を

受診抑制打開へ向け“青い歯科署名”
4月20日までにご返送ください



歯科は、所得が低くなると受診時の歯科診療代が低下する所得弾性値が高く、物価高による実質賃金の減少で歯科の受診抑制が起こっている可能性がある。事実、会員からは「患者が減ってきた」などの声が協会に寄せられている。

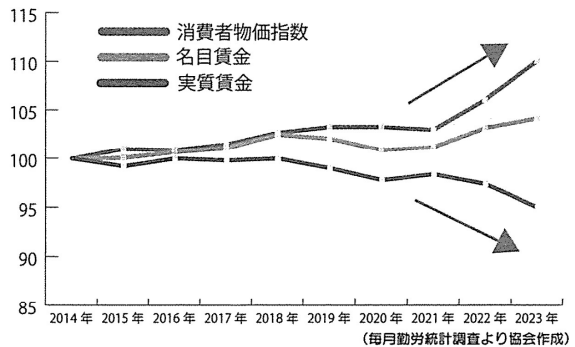
協会が取り組んでいる「保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名」では、患者の負担軽減や歯科の予算拡大が盛り込まれており、苦しい今こそ国会議員へ現場の声を届けるべきである。

物価高で、国民の購買力は低下

政府の毎月勤労統計調査から、過去10年間の実質賃金、名目賃金および消費者物価指数の推移について、2014年を基準(100)とした場合をまとめると図1の通りである。21年から名目賃金および消費者物価指数が上がっているが、名目賃金の伸びの方が低調で、物価変動の影響を考慮して調整した実質賃金は下がっている。

実質賃金は購買力を示した数値であり、近年、国民の購買力が下がっているといえる。

図1 実質賃金、名目賃金、消費者物価指数の推移



21年から歯科診療代が下がる

歯科診療に対する支出額をみると、政府の家計調査から医科と歯科の診療代の推移の結果は、図2のとおりである。21年以降では、医科診療代は微増しているが、歯科診療代は逆に微減となっている。

歯科の診療代が下がったのは、患者の口腔内が良くなったからであろうか。東京都保健医療局が公表した「令和4年度東京都歯科診療所患者調査報告書」では、東京の患者における口腔内の満足度の調査結果が報告されている(図3)。20~64歳の満足度には特に大きな変化がみられないが、65歳以上および80歳以上の患者における口腔内の満足度は、調査ごとに微減している。

協会が「21世紀にふさわしい歯科改革提言2019年版」で報告しているが、歯科受診に対する支出は、所得が低くなると医科よりも低下しやすいという特徴がある。これらを加味すると、近年の物価高や年金の受給額の引き下げなどにより、受診抑制が起こっていてもおかしくはないのではないだろうか。

図2 医科と歯科の診療代の推移

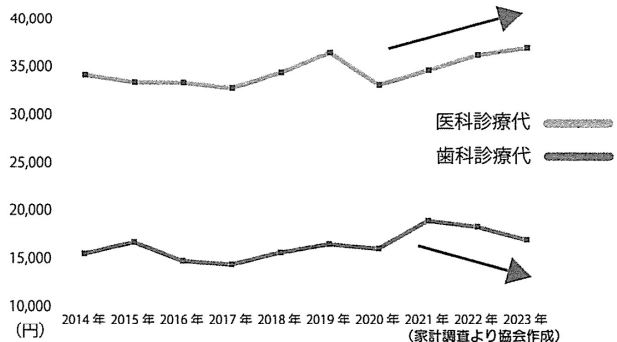
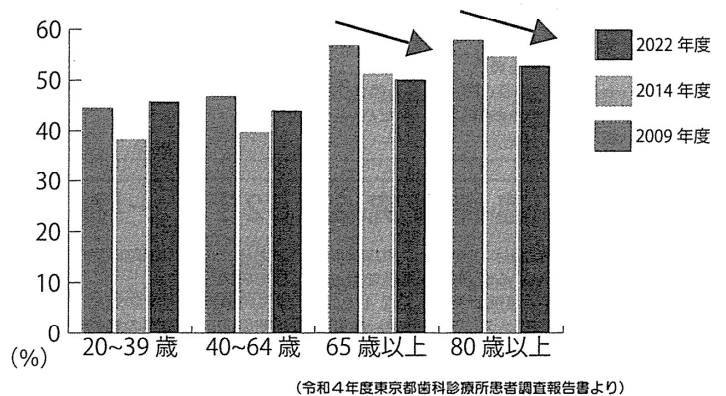


図3 歯・口や入れ歯の状態にほぼ満足している者の割合(東京都)



このままでは患者の健康は守れない署名にご協力を

受診抑制が起これば、治療を途中で諦める患者が増え、口腔内は悪化しやすくなるうえ、重症化により多額の治療費がかかる患者も出てくるであろう。家計が厳しい今こそ、患者負担の軽減と歯科予算の充実が重要である。

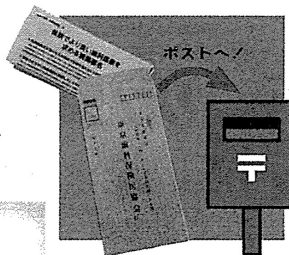
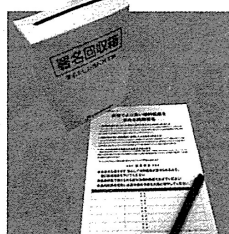
患者が安心して受診できるよう、青い用紙の署名「保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名」を集めている。お手元にある“青い署名用紙”を4月20日までに協会へご送付いただきたい。

署名にご協力ください！



署名用紙
注文フォーム

スタッフ、患者さんなどにもぜひご協力をお呼びかけください



返信用で協会事務局までご返送をお願いします

集まった署名は国会議員を通じて国会に提出します！



繋ぐ 歯科署名

保険でより良い歯科医療を

請願署名リレー①

現在取り組む「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」。今回の取り組みを成功に導くため、署名に取り組む先生方の声をリレーで繋ぎます。

今回は、これまでの署名活動から患者さんへの呼びかけ方法を確立してきた先生にご執筆いただきました。



活動主体をスタッフに任せられれば、歯科業界の問題や課題をスタッフと共有でき、より良い仕事関係や院内の雰囲気もより良くなるかもしれません。スタッフに通常業務外の新たな仕事を増やすことに懸念が生じることはありますが、先生方の熱意が伝わるスタッフがいれば心強いでしょう。

「まあまあ」が大切
スタッフを主体に取り組んでいます

署名活動を通じて、様々な意見をいただき、保険外の自費診療に積極的な患者の場合はむしろ、署名活動に参加し、署名活動の主体をスタッフに任せられると心強いです。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。

署名活動の主体をスタッフに任せられると心強いです。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。

署名活動を通じて、様々な意見をいただき、保険外の自費診療に積極的な患者の場合はむしろ、署名活動に参加し、署名活動の主体をスタッフに任せられると心強いです。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。

署名活動を通じて、様々な意見をいただき、保険外の自費診療に積極的な患者の場合はむしろ、署名活動に参加し、署名活動の主体をスタッフに任せられると心強いです。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。当院は予約制の診療です。

保険でより良い歯科医療を求める請願署名

医科の先生方も署名に

ご協力をお願いいたします

理事 齋 基之



「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、前身の「保険で良い入れ歯を」全国連絡会が1992年9月に結成

されたものが2000年7月に改称されたもので、地元の「宮城の会」が結成されたのは2019年10月で、東北では初の結成になります。当会は、歯科医療を受ける患者さんと、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士など

歯科医療提供者が集う場として、また食や口から見えてくる社会問題を共に考えることを目的に活動している団体です。

当初は、保険で良い入れ歯は国民の権利、歯科医療従事者の技術と労働の適正な評価、経営と生活の確保という問題の解決に向け活動を行ってきましたが、2000年の総会で入れ歯問題だけでなく、乳幼児から高齢者までを含めた歯科の保険・医療制度全般の改善を課題にして、講演会やシンポジウムなどの宣伝と交流、署名、県会議員、国会議員への要請、自治体意見書運動など幅広い活動を進めてきました。

宮城の会では、これまで学校検診での歯列不正に対する養護教員へのアンケート、歯科矯正の保険導入に対する市民アンケートや歯科医院への受診が経済的に困難なことに起因する口腔腫瘍事例の勉強会、歯科健康テレビ相談、いい歯デー市民のつどいの開催などを行ってきました。

今回、宮城の会で保険でより良い歯科医療の実現を、という署名を開始しました。請願項目は次の3点です。ぜひ歯科の先生だけでも

なく医科の先生にもご協力をお願いいたします。

保険でより良い 歯科医療の実現を

口負担割合を下げて下さい

健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げて下さい

歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やして下さい

あなたの願いを歯科署名で届けよう!!

署名用紙の追加送付は事務局 (TEL022-265-1667) までご連絡ください

保険でより良い歯科医療を求める

請願署名にご協力を

積極的に署名にご協力いただいている先生に、署名取り組みへの思いや方法について聞きました。

海津市 河村歯科クリニック
院長 河村佳郎先生

◆歯科の診療報酬が低く抑えられている現状などご意見をお聞かせください。

先日岐阜県歯科医師会会、日本歯科医師会会長の高橋英登先生の講演があり、歯科医師の現状と問題点と今後の解決策についてお話を、驚き、強く

共感いたしました。歯科界の問題は、歯科医師会だけでなく、保険医協会だけでなく、歯科医師全員が解決していかなければならない問題である。歯科医師みんなが歯科医師会と保険医協会で共に入会して活動し、個人でなく団体が政府に交渉して歯科医師の思いを達成していかなければならない。特に、約八割の歯科医院で経営が苦しい状態が続いており、歯科医師の格差は広がるばかりで、海外と比較した歯科治療の報酬の評価も広がるばかりである。特に歯内療法と総義歯等の補綴は、海外格差が酷すぎる。総義歯（一床は、日本では三万五千円位で、フランス、台湾、香港などは三十五万円以上であり、日本は十分の一の金銭的な評価

である。歯内療法は、日本において自費で歯内療法を行っている歯科医師や海外との格差が酷く、アメリカ等と同等の金銭的評価にすべきである。

◆これから、署名に取り組まれる先生方へ。

より良い歯科医療とは、患者さんから見ても良い医療であり、歯科医師や医療者から見てもより良い歯科医療でなければならぬ。より良い歯科治療とは、患者さん側の考え方だけでなく、歯科医師・医療者側からも満足の出来る診療報酬と内容でなければならない。このことを折念して行っていくべきものである。

* * *

令和八年度診療報酬改定において歯科医療費の総枠を拡大し、診療報酬の大幅な引き上げに向けて患者や医療機関の声を届けるために一層のご協力をお願いいたします。

追加の署名やリーフなどをご希望の方は、協会にご連絡ください。



11/15
2024年第1507号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
発行人 和田 武
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-hok.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

保険でより良い
歯科医療の実現を

窓口負担を
引き下げて!!

保険適用範囲を
もっと広げて!!

歯科の予算を
増やして!!

あなたの願いを歯科署名で届けよう!!
いつまでも、どこまでも、だれもが
お金の心配なく安心して歯科治療を受けられるために

「保険でよい歯科診療を」全国連絡会は、歯科医療費の総枠拡大、保険適用範囲の拡充と、患者負担の軽減を求め、保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名の取り組みをスタートする。署名用紙は本号に同封している。協会は会員の先生の積極的な協力を呼びかけている。

今号同封

総枠拡大めざし 署名スタート 「保険で良い歯科」

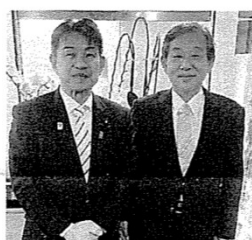
保険でよい歯科診療を
大阪連絡会

「保険でよい歯科診療を」全国連絡会は、歯科医療費の総枠拡大、保険適用範囲の拡充と、患者負担の軽減を求め、保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名の取り組みをスタートする。署名用紙は本号に同封している。協会は会員の先生の積極的な協力を呼びかけている。

大阪歯科協会紙 25/2/15

診療報酬改善と保険で良い歯科求めて②

議員懇談 維新・国民が応じる



維新・西田議員
歯科の重要性に理解

協会は日本維新の会・西田議員院議員(大阪6区)と1月17日、府内で懇談を実施した。協会からは小澤理事長と和田武事務局長が同席し、まずマイナ保険証の政府の発行姿勢について問題意識を尋ねた。西田議員は、基本的にはマイナバーカードやマイナ保険証の利用については推進的な情報提供への法整備が遅れている点を、政府は真摯に受け止め対応する必要がある」との意見を強調した。西田議員も環境整備などについて、「遅れてい



国民・平岩征樹議員
保険でよい歯科に賛意

協会は国民民主党の平岩征樹院議員(大阪8区・比例近畿)と1月17日、大阪府内で懇談した。小澤理事長は冒頭、103万の壁など国民の関心事になっている、所得への基礎控除の幅を引き上げる案に対し、国民民主党は財源をどう考えているかと尋ねた。平岩議員は、物価高が背景にあるものの消費税率や法人税の増収により税収が6年連続で過去最高を更新していることなどを紹介し、新たな増税案などはその場では示さ

総枠拡大と
窓口軽減

「時間とお金があれば歯科にかかりたい」

国民が安心して歯科医療を受けることができるよう、歯科医療の経営、スタッフの確保、歯科技術を守る。患者の窓口負担の軽減もあわせて求めていく必要がある。

低すぎる
歯科医療費

2001年から20年以上、2.6兆円から3兆円程度とほぼ横ばいの低すぎる歯科医療費が、歯科医療の経営を圧迫し、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士のなり手を奪っている。これは患者にとって歯科医療提供体制を危うくさせる問題だ。

受診に影響

建築関係の労働組合が「時間とお金があれば歯科にかかりたい」というアンケートでは、時間とお金があれば歯科にかかりたいという声

全国連絡会
署名開始集会
街頭宣伝を実施

11月2日「保険でよい歯科医療を」全国連絡会。理事長と事務局が参加した。集会に先立って同会参加者は新宿駅周辺で街頭宣伝に取り組み、通行する市民に向け署名の協力を呼びかけた。

歯科従事者と
国民がともに

「保険でよい良い歯科」署名は、歯科医療費の総枠拡大と同時に患者負担の軽減に寄与する請願内容で、歯科医療従事者、国民・患者がともに取り組めるものだ。ぜひ先生方にはご家族・スタッフ、そして待合室で患者・取引のある業者などにも広げていただきたい。



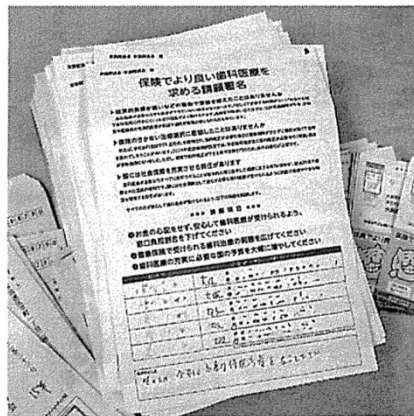
保険で良い歯科
署名の取り組みを
通じて、議員懇談で
賛同者を広げる取り組み

保険でよい歯科診療を
大阪連絡会
現在1786筆

保険で良い歯科署名
協力数、日々更新中



「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名が日々協会に届き、「ひとこと欄」にもコメントが寄せられています。安全性が確認され、多くの国民が必要とする医療は保険で受診できるようにする必要があります。一方で政府は、医療費削減のために医薬品を一部保険から外し、高額療養費の患者負担を重くする見直しを進めています。今こそ「保険でよい歯科医療を求める」取り組みが一層、求められています。署名へのご協力をお願いします。



さらなる署名へのご協力をお願いします

～ 2026年診療報酬改定に向けて～

『保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名』へのご協力をお願いします

協会も参加する「保険で良い歯科医療を」京都連絡会は、昨年11月より請願署名の取り組みを開始しました。請願署名は、予算審議の流れに合わせ、国民の声を予算編成に反映させることを優先し、今年6月の通常国会に提出いたします。今回の請願署名の要望項目は、従来通り「患者窓口負担の軽減」、「保険適用範囲の拡大」、「歯科医療充実のための国の予算増」の3点を求めています。

前回2023年の取り組みでは、最終的に全国20万筆超、京都5,500筆の署名を集約し、京都選出の国会議員4人の紹介議員を通じて提出いたしました。その結果、CAD/CAM冠の適用範囲拡大や歯科矯正相談料の新設など保険適用範囲の拡大が一部、実現することができました。さらに国民が安心して歯科治療が受けられる医療制度に変えていくためにも、政府に3項目の実施

を迫っていく必要があります。

会員の先生方におかれましては、2026年の診療報酬改定に向けて、ぜひとも署名へご協力いただきますようお願いいたします。集まりました署名用紙は、同封しております返信用封筒にて、協会事務局までご返送いただきますようお願い申し上げます。また、署名の協力を呼び掛けるリーフレットも作成いたしました。署名用紙と同送しておりますので、どうぞご利用ください。

お忙しい時期のお願いで大変、恐縮ですが、ぜひとも、スタッフのみなさんも含め、ご協力をお願いいたします。なお、ご不明な点や署名用紙・リーフレットの追加希望などがございましたら、協会事務局までご連絡をお願いいたします。

※署名用紙は5筆分の記載欄がありますが、すべて埋まらなくても構いません。

1筆でも大丈夫です。

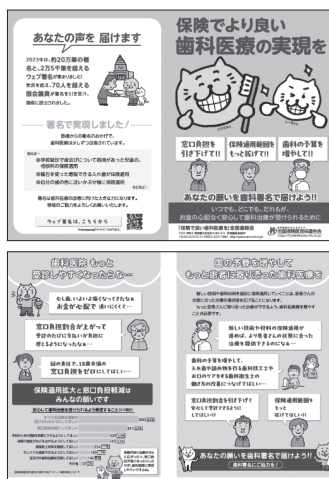
ウェブ署名はこちら



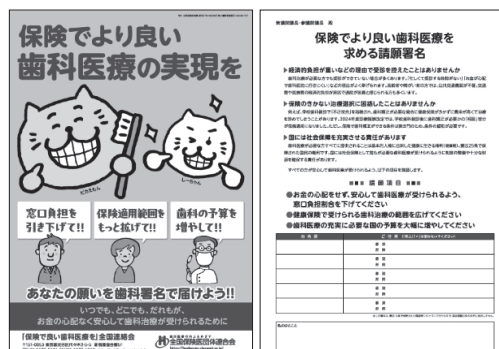
「保険でより良い歯科医療を」ウェブ署名

署名集約日 中間：2月22日(土)、最終：5月24日(土)

----- 機関紙TIMES 新年号と一緒に送りました署名とリーフレットです -----



署名への協力を
呼び掛ける
リーフレットです。



新しい署名用紙です

従来の健康保険証存続と 歯科医療に関する要請行動に取り組む！

2025年3月13日、協会と「保険で良い歯科医療を」京都連絡会は、従来の健康保険証の存続、歯科医師の減少や歯科技工士の担い手不足など課題が多い歯科医療提供体制の確保問題、そして、会員の先生にご協力をお願いしている「保険で良い歯科医療を求める請願署名」の協力要請のため、京都選出の国会議員への要請行動に取り組みました。協会から、佐藤理事長、平田副理事長、事務局が参加し、全国から医師・歯科医師など150人が集まり、それぞれ地元の国会議員に要請しました。

午前中は、立憲民主党の泉健太衆議院議員（京都3区）、山井和則衆議院議員（京都6区）を訪問するも、秘書対応となり、秘書の方に要請書と署名用紙を手渡し、歯科医療改善に向けての協力をお願いしました。その後、日本共産党の堀川あきこ衆議院議員（近畿比例）を訪問し、議員本人と懇談することができました。懇談では、平田副理事長から、マイナ保険証のトラブルが医療現場では続いている状況を訴え、さらに高齢者や認知症の方から健康保険証を取り上げ、マイナンバーカードや暗証番号などを管理することは困難であると指摘し、最低でも資格確認書の全員発行を求めました。堀川議員は「従来の健康保険証を残すことを、党としても求めている」と応えました。また、国家試験の合格者数や歯学部定員が低く抑えられていることなどにより歯科医師が減少していること、過酷な労働環境により歯科技工士が減り続け、歯科技工士養成学校の廃校や定員割れが起きていることなど歯科医療提供体制が危機であると訴えました。地方では人口減少により、無歯科医地区が

増えており、早急な対応をお願いしました。

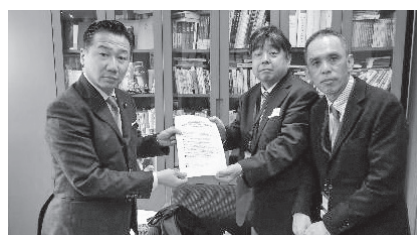
昼休みには、保団連が「医療を守れ！白衣のアピール行動」を開催し、衆議院第2議員会館前での宣伝行動



白衣の行動アピールに参加する当会役員

に参加しました。高額療養費制度の限度額見直しに関して、子育て世代のがん患者さんや重い病気の治療を続けている患者さんから、命に係わる切実な訴えが続きました。参加した先生方は白衣を羽織り、見直しの白紙撤回を求めて国会に向けて声を張り上げました。国会議員9人、マスコミ関係者4人も参加しました。

午後からは、無所属の北神圭朗衆議院議員（京都4区）は秘書対応でしたが、日本共産党の倉林明子参議院議員（京都選挙区）、立憲民主党の福山哲郎参議院議員（京都選挙区）とは懇談することができました。懇談では、物価高騰と人件費増に加え、昨年6月の診療報酬改定では低すぎるため、多くの歯科医療機関の経営がひっ迫している状況を訴えました。直近で取り組んだ歯科会員アンケートで寄せられた会員の声として、診療報酬の緊急改定（期中改定）による大幅引き上げの実施が要望されていることや国からの経済措置が必要であることを伝えました。今回懇談できた3人の国会議員には、6月に歯科請願署名の紹介議員の要請で再来することを告げ、行動は終了しました。



左から堀川議員、倉林議員、福山議員

お手元に残っていませんか？

保険でより良い歯科医療を求める請願署名

≡ 6月5日に国会へ提出いたします!! ≡



協会も参加する「保険で良い歯科医療を」京都連絡会では、「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」に取り組んでいます。現在、全国で約9万3千筆、京都では約4,000筆集まっていますが、国会議員へ国民の声として届けるためにも多くの署名が必要です。

会員の先生におかれましては、1月に署名用紙を送付させていただきましたが、お手元に残っていませんか？6月5日(木)に全国から医師・歯科医師等が国会に集まり、署名を提出いたします。京都からも代表が参加して、京都選出の国会議員に要請する予定になっています。

国会への提出日が近づいてきました。もし、署名がお手元に残ってしましたら、署名用紙と同封しました返信用封筒で協会事務局までお送りください。どうぞよろしくお願いいたします。

協会活動をより活発に、より充実したものにしていくため、会員の皆さんの声・情報・アイデア等をお寄せいただきたいと思います。歯科界や、審査・指導に対する不満や要望、協会に対する率直な意見や要望など、何でも結構です。気楽にお書き下さい。その実現に向けて、会員の皆様と共に努力していきたいと思っております。右記のハガキをご活用下さい。

(匿名ご希望の方はその旨ハガキに記載下さい)

協会にご意見・ご要望をお寄せ下さい

会 員 の 声

キ リ ト リ 線

キ リ ト リ 線

ありがとうございました。

地区 _____ 氏名 _____

「保険で良い歯科医療を」京都連絡会 市民講演会

ロトラフルの救世主！ あなたの知らない ～唾液のチカラ～

参加費
無料

日時 6月14日（土） 15：00～16：30

会場 京都経済センター 3階【3-F】（現地参加のみ）

住所：京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ

講師 有賀 千佳 氏

（日本歯周病学会認定歯科衛生士、高原歯科クリニック 勤務）

後援団体一覧

- ・京都府
- ・京都市
- ・京都新聞
- ・京都府歯科衛生士会

対象 ご興味のある方どなたでも無料で申込可能です

「唾液＝汚い」と思っていないですか？

普段はほぼ意識する事のない唾液ですが、口腔の健康維持に不可欠であり、楽しい食事や会話にも重要な役割を果たしています。更に唾液は、消化を助け、細菌から体を守り、若々しさまで保つ、あなたの健康と美を守る最強パートナーです！口の渇きは気になりませんか？頑張って歯磨きをしているのに虫歯が増えていませんか？気になるお口の症状が全身に影響するかもしれません。本講演では、唾液の驚くべき力をわかりやすく解説。唾液を増やす方法や即効性のある食事法、生活習慣の改善など、今日からできる唾液力アップ術を伝授します。唾液の力を味方にして健康ライフを楽しみましょう！



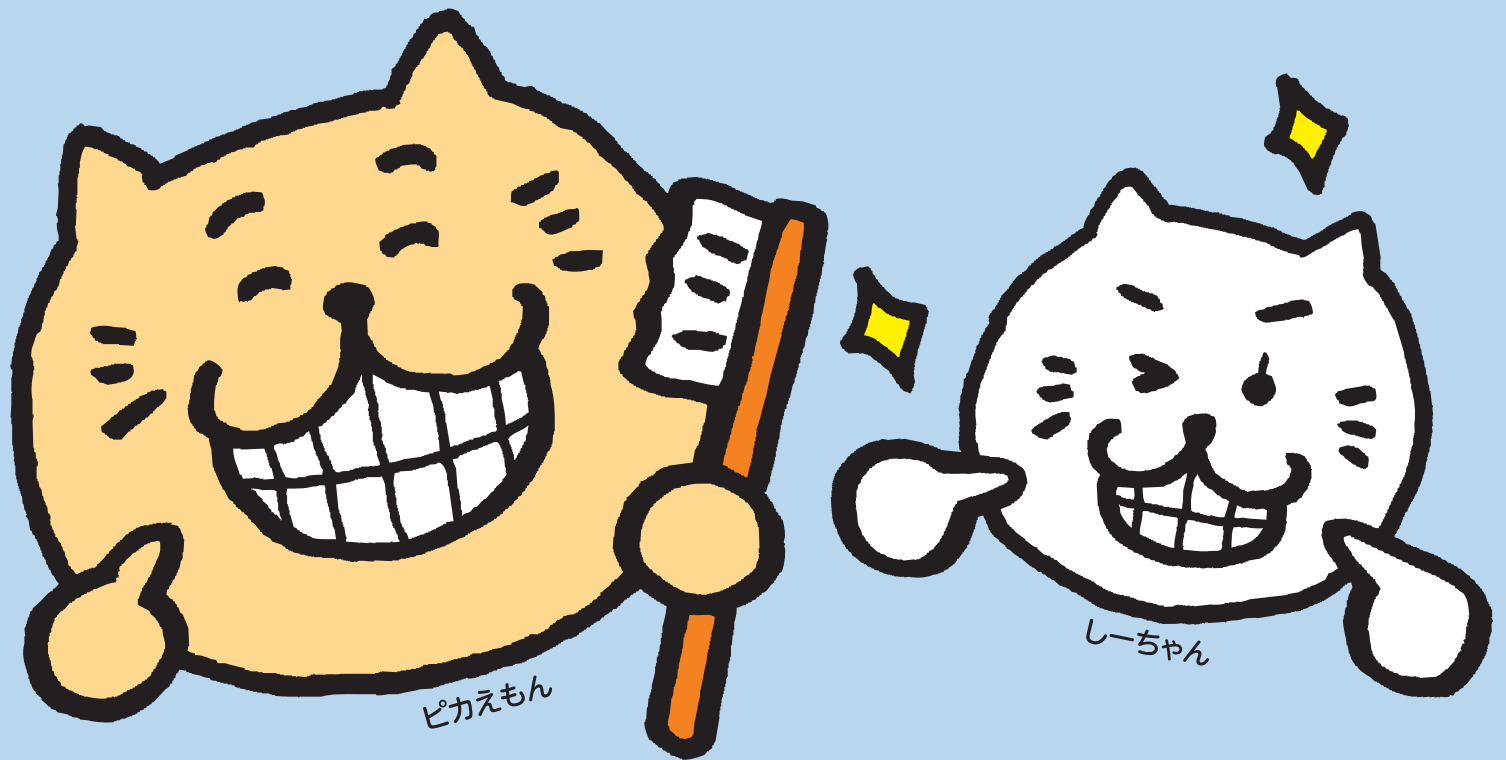
参加申込は
こちらから



TEL : 075-746-7680

Mail :Kyoto-sk@doc-net.or.jp

保険でより良い 歯科医療の実現を



窓口負担を
引き下げて!!



保険適用範囲を
もっと広げて!!



歯科の予算を
増やして!!



あなたの願いを歯科署名で届けよう!!

いつでも、どこでも、だれもが、
お金の心配なく安心して歯科治療が受けられるために

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館5F 61

TEL03-3375-5121 FAX03-3375-1862 <http://yoisika.doc-net.or.jp/>

国民医療の向上をめざす
全国保険医団体連合会
<https://hodaanren.doc-net.or.jp/>

保険でより良い歯科医療を 求める請願署名

▶ **経済的負担が重いなどの理由で受診を控えたことはありませんか**

歯科治療が必要な方でも受診ができていない場合があります。「忙しくて受診する時間がない」「お金が心配で歯科医院に行きにくい」などの理由がよく挙げられます。高齢者や障がい者の方では、公共交通機関が不便、交通費や医療費の経済的負担が原因で通院が困難と感じられる方も多くいます。

▶ **保険のきかない治療選択に困惑したことはありませんか**

例えば、学校歯科健診で「不正咬合」を指摘され、歯科矯正が必要な場合に健康保険がきかずに費用が高くて治療を諦めてしまうことがあります。2024年度診療報酬改定では、学校歯科健診後に歯科矯正が必要かの「相談」部分が保険適用になりました。ただし、保険で歯科矯正ができる条件は狭き門のため、条件の緩和が必要です。

▶ **国には社会保障を充実させる責任があります**

歯科医療が必要な方すべてに提供されることは基本的人権に由来した健康に生きる権利（健康権）、憲法25条で保障された国民の権利です。国には社会保障として誰もが必要な歯科医療が受けられるように制度の整備や十分な財源を確保する責任があります。

すべての方が安心して歯科医療が受けられるよう、以下の項目を請願します。

■ ■ ■ 請 願 項 目 ■ ■ ■

- **お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください**
- **健康保険で受けられる歯科治療の範囲を広げてください**
- **歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください**

お 名 前	ご 住 所 （「同上」「〃」は使わないでください）
	都 道 府 県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

私のひとこと

あなたの声を 届けます

2023年は、約20万筆の署名と、2万5千筆を超えるウェブ署名が集まりました！
党派を超え、70人を超える国会議員が署名を引き受け、国会に提出されました。



……… 署名で実現しました！ ………

皆様からの署名のおかげで、
歯科医療は少しずつ改善されています。

例えば…

- 学校健診で歯並びについて指摘があった児童の、相談料の保険適用
- 磁石を使った着脱できる入れ歯が保険適用
- 自分の歯の色に近いかぶせ物に保険適用

などなど…

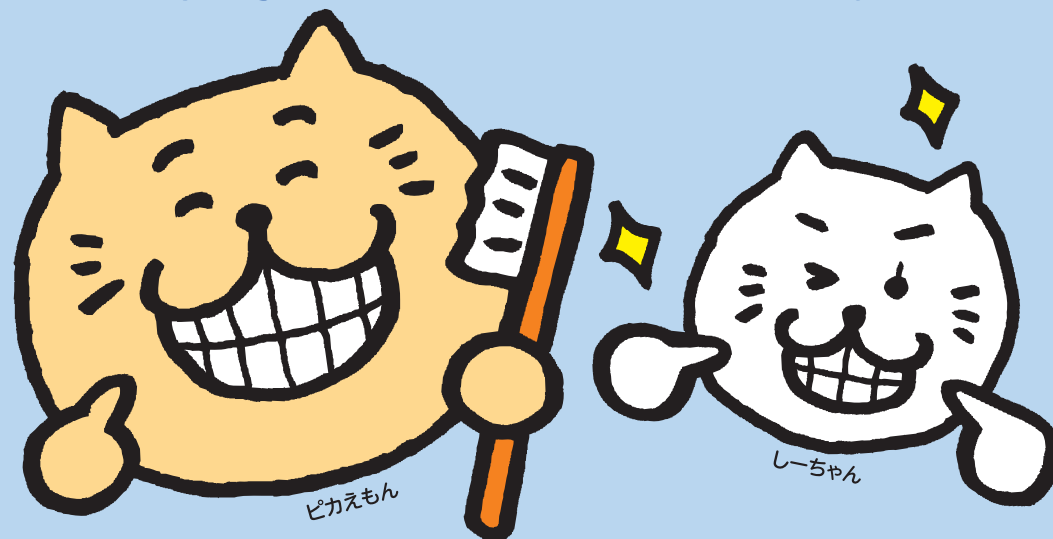
署名は歯科医療の改善に向けた大きな力になります。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ウェブ署名は、こちらから

※change.orgのサイトにつながります。



保険でより良い 歯科医療の実現を



窓口負担を
引き下げて!!

保険適用範囲を
もっと広げて!!

歯科の予算を
増やして!!



あなたの願いを歯科署名で届けよう!!

いつでも、どこでも、だれもが、
お金の心配なく安心して歯科治療が受けられるために

歯科医院 もっと 受診しやすくなったらな…



むし歯、いよいよ痛くなってきたなあ
お金が心配で 通いにくくて…

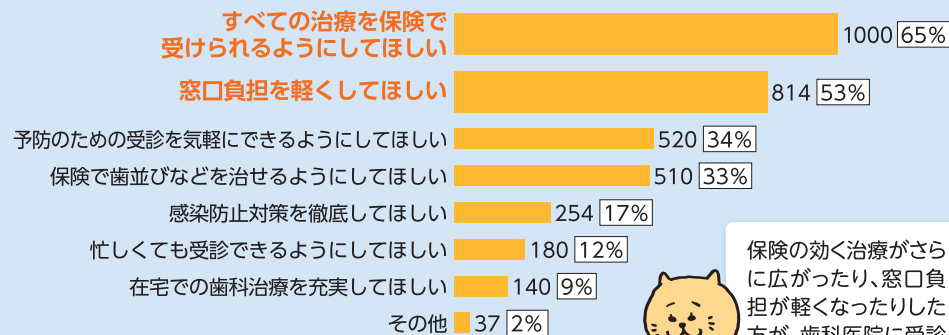
窓口負担割合が上がって
受診のたびに支払いが負担に
感じるようになったなあ…



国の責任で、18歳未満の
窓口負担をゼロにしてほしい…

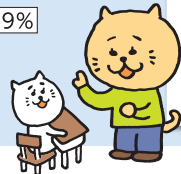
保険適用拡大と窓口負担軽減は みんなの願いです

安心して歯科治療を受けられるよう希望すること(3つ選択)



保険の効く治療がさら
に広がったり、窓口負
担が軽くなったりした
方が、歯科医院に受診
しやすいですね。

全国保険医団体連合会「歯科市民アンケート集約結果」2021年



国の予算を増やして もっと患者に寄り添った歯科医療を

新しい技術や歯科材料を適切に保険適用していくことは、患者さんの
状態に合った治療の選択肢を広げることになります。

もっと患者さんに寄り添った治療ができるよう、歯科医療費を増やす
ことが必要です。



新しい技術や材料の保険適用が
進めば、より患者さんの状態に合った
治療を提供できるのになあ…

歯科の予算を増やして、
入れ歯や詰め物を作る歯科技工士や
お口のケアをする歯科衛生士の
働き方の改善につなげてほしい…



窓口負担割合を引き下げて
安心して受診できるように
してほしい!!



保険適用範囲を
もっと
広げてほしい!!



あなたの願いを歯科署名で届けよう!!

歯科署名にご協力を!



患者・国民と医療従事者が手を携えた「保険で良い歯科医療」運動の推進を

1. 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の経過と成果

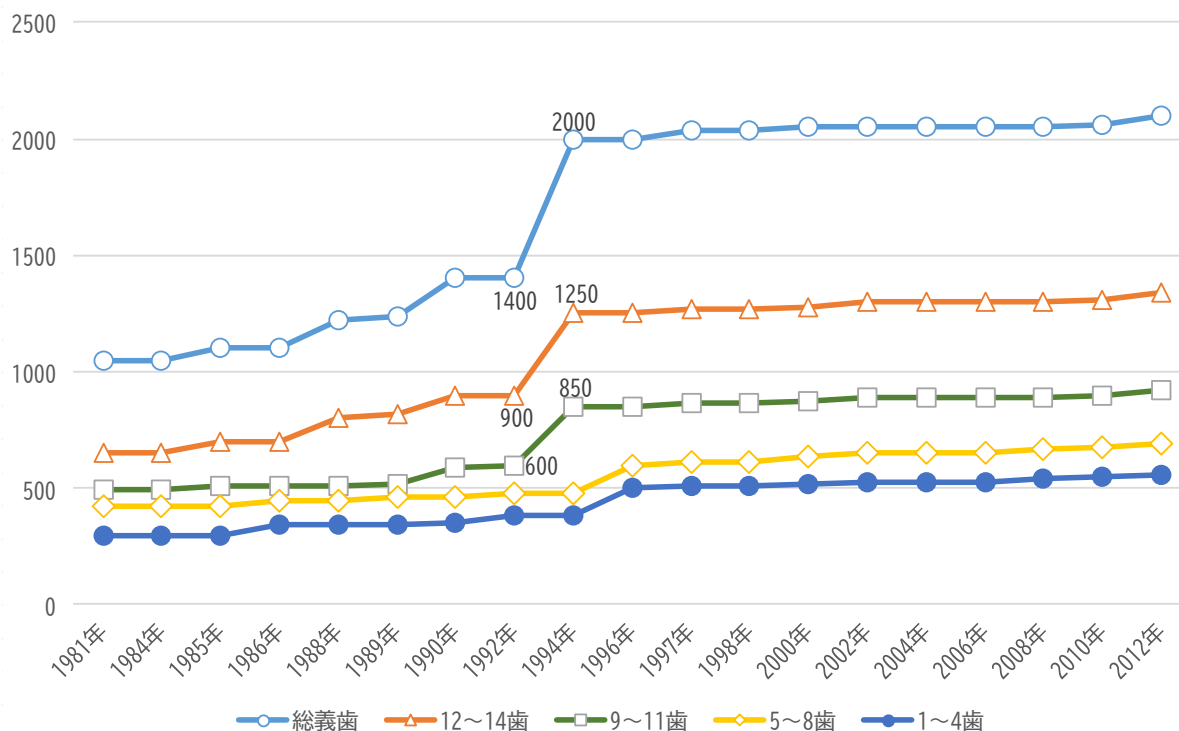
(1) 「保険で良い入れ歯を」全国連絡会の発足

1992 年 1 月放映の NHK スペシャル「噛めない・話せない・笑えないー入れ歯の話」で入れ歯人口の 50%以上が「入れ歯の調子が悪い」と訴えていることが明らかにされ、その原因が低点数と指摘。国会では、与野党各党の国会議員が国会質問を行い、政府に診療報酬の改善を迫った。

こうした状況を受け、保団連は歯科医療提供者だけでなく、患者・国民の諸団体に「保険で良い入れ歯を」運動を呼びかけ、9 月に「保険で良い入れ歯を」全国連絡会が発足。10 月には、全国各地で「入れ歯デー」に取り組んだ。高知、大阪、京都、千葉、東京など各地でも連絡会が結成された。自治体での意見書採択運動が進み、最終的には、全自治体（当時 3200 強）の過半数（1600）に達した。厚労省も実態調査を行い、保険適用のレジン床義歯の不採算を認め、1994 年診療報酬改定では、入れ歯の保険点数が 40%上がるという大きな成果を得た。

運動を全国的なものにしていく過程で、1992 年の高齢者大会では、「白内障眼内レンズの保険適用」とともに「保険で良い入れ歯」をテーマとした分科会が設けられた。以降、現在の「保険で良い歯科医療を」運動を進める中で高齢者大会では歯科関連の分科会が設定され続けている。

有床義歯の点数の変遷



(2) 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の発足

「保険で良い入れ歯」運動は、その後、終息に向かうが、2000 年 7 月に「保険で良い入れ歯を」全国連絡会は、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会に名称を変更し、「入れ歯」問題だけでなく、乳幼児から高齢者までを含めた歯科医療制度全体の改善を課題に「保険で良い歯科医療」の実現に向けた運動に取り組むことになる。

■全国連絡会および各都府県連絡会の結成・加盟

1992 年 9 月 改称 2000 年 7 月	「保険で良い入れ歯を」全国連絡会 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会
1993 年 4 月 改称 1996 年 6 月	「保険で良い入れ歯を」千葉連絡会 「歯科医療を良くする」千葉県連絡会
1993 年 10 月 改称 2005 年 12 月	「保険で良い入れ歯を」東京連絡会 「保険で良い歯を」東京連絡会
2007 年 6 月結成	「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会
2008 年 12 月	「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会
2009 年 11 月	「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会
2010 年 5 月	「保険で良い歯科医療を」大阪連絡会
2010 年 6 月	「保険でより良い歯科医療を」大分連絡会
2018 年 5 月	「保険で良い歯科医療を」京都連絡会
2018 年 7 月	「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会
2018 年 9 月	「保険適用拡大を願う会」(山梨)
2019 年 10 月	「保険でより良い歯科医療を」宮城の会

(3) 全国連絡会および各都府県連絡会の取り組み事例

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会では、全日本民医連、医療福祉生協連、保団連の中央団体組織と各都府県連絡会での関係団体との協力で、保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名の取り組みや歯科技工問題、子どもの歯科矯正の保険適用拡大などを課題に運動を進めている。

歯科技工問題では、加盟団体や全国連絡会の取り組みで、当該地域の歯科技工士会との懇談を行い、課題や歯科技工料問題などの解決に向けた意見交換を行っている。また、国会内での集会、厚労省要請を行い、2022 年 10 月 29 日には、全国連絡会の総会とともに「歯科技工問題を考えるシンポジウム」を開催して、

現地・WEB で歯科技工士・歯科医師ら約 160 人が参加して、歯科技工・歯科医療を取り巻く現状や課題、そして解決策などの意見交換を行った。

この間の歯科請願署名の集約数	
2007 年	26.9 万筆
2009 年	23.0 万筆
2011 年	29.3 万筆
2013 年	34.6 万筆
2015 年	29.1 万筆
2017 年	31.4 万筆
2019 年	26.9 万筆
2021 年	25.0 万筆
2023 年	20.0 万筆

☞ **歯科技工問題** 歯科治療で使用するインレーやクラウンといったかぶせもの、入れ歯などの補てつ物を歯科医師の指示のもと製作する歯科技工士または歯科技工所に関わる諸課題。厚労省の審議会で働き方や ICT 化への対応などが議論されるものの、十分な委託技工料が歯科技工士（所）にわたらない課題（経済的な問題）への環境（委託技工に係るルール化など）および制度（診療報酬の点数引き上げ）改善に係る議論はあまり行われていない。

子どもの歯科矯正の保険適用拡大では、山梨県の「保険適用拡大を願う会」（代表：小尾直子氏）が中心となり、自治体意見書採択（2021 年 11 月現在、山梨県では全 27 自治体で採択）や子どもの歯科矯正の保険適用拡大をもとめる請願署名（2018 年から実施、計 81,417 筆提出）などを実施。また、2021 年の第 204 回通常国会会期中の衆議院厚労委員会（6/16）では、「子どもへの歯科矯正への保険適用の拡充に関する請願」が全会一致で採択された。

☞ **子どもの歯科矯正** 歯科矯正は唇顎口蓋裂、トリーチャ・コリンズ症候群などの一部の先天性疾患に該当するなどした場合に保険適用となる。学校歯科健診で不正咬合が指摘されて受診を促されても、そのほとんどは保険適用とはならない。2022 年診療報酬改定では、先天性疾患の追加など若干の改善がされている。